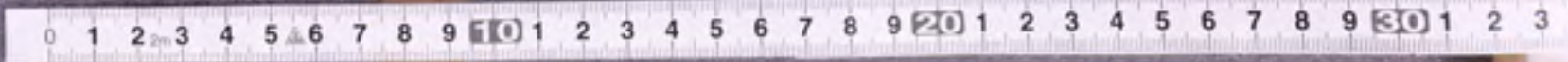


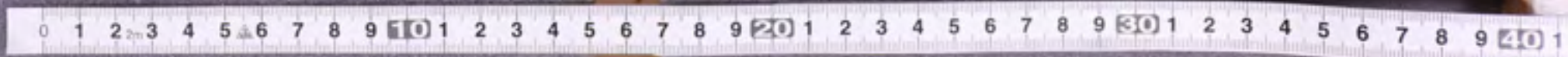
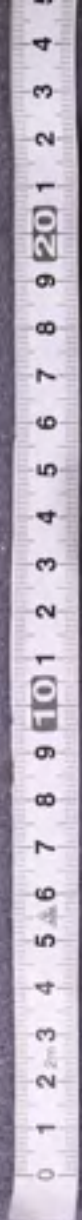
自昭和十七年七月一日

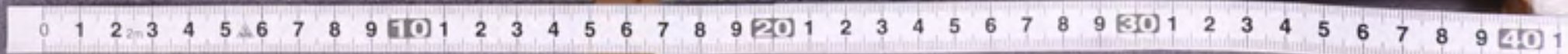
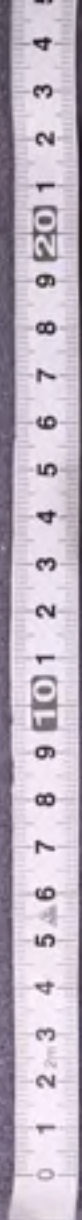
防護團當番記錄

東京帝國大學特設防護團  
法學部團



OpCARD 10





○昭和十七年七月三日——六日、昭報、報費令

一、昭報十七年七月三日迄七日迄十  
日迄、昭報費令。本名團長、十郎副團  
長、團長總務班長、外事務員登其。  
久保、丸山、田室為参考品也。

(團長記)

丸山

一、七月四日(主)引藤十郎、成安、利施行十九。

杉村・石井(直)・赤松各参典、由志番。

牛村(叶)・寺部(吉)・於于雄(吉)公議由權、園所君

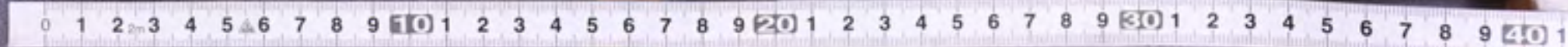
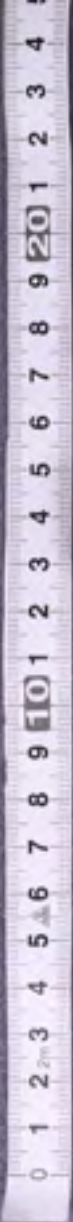
主主任、園孫、利部、久保、赤松、野田、丸山、鈴木(家)

平木、以上各参典各席、主上上于所、言官、階、護、符、備、由、

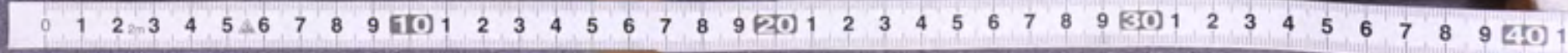
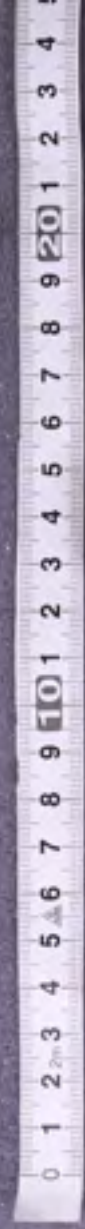
各先主候人。

野田、丸山各参典、夜由清直。

(丸山記)



OpCARD 10



(國友記)

午後零時一分、警戒報解除。

久為考矣。

一 七月六日(陰) 晝間吉房、矢部、石井照

7/6

○昭和十七年八月八日(土)防室訓練之実施

一、参加人員

團長、副團長、各参考手、各隊隊長、班附

學生隊員、一二五名

一、午前九時より十時マテ基礎訓練ヲ行ハシメテ

午前十時ヨリ十一時半マテ、基礎演習部團及之各隊團ト

聯合シテ、左記書定ニ依リ、聯合訓練ノ実施セラル

二、午前十一時ヨリ、團長講評、訓練終了

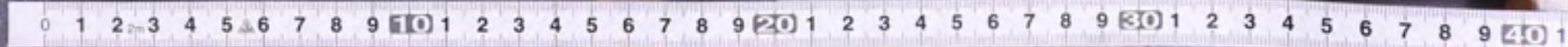
(備考) 刑部、杉本、丸山等、此種演習、甚多參與シ、且、

演習中、各隊員、各隊員、指導、者、久任、隊員、

演習、各隊員、指導、者、久任、隊員、

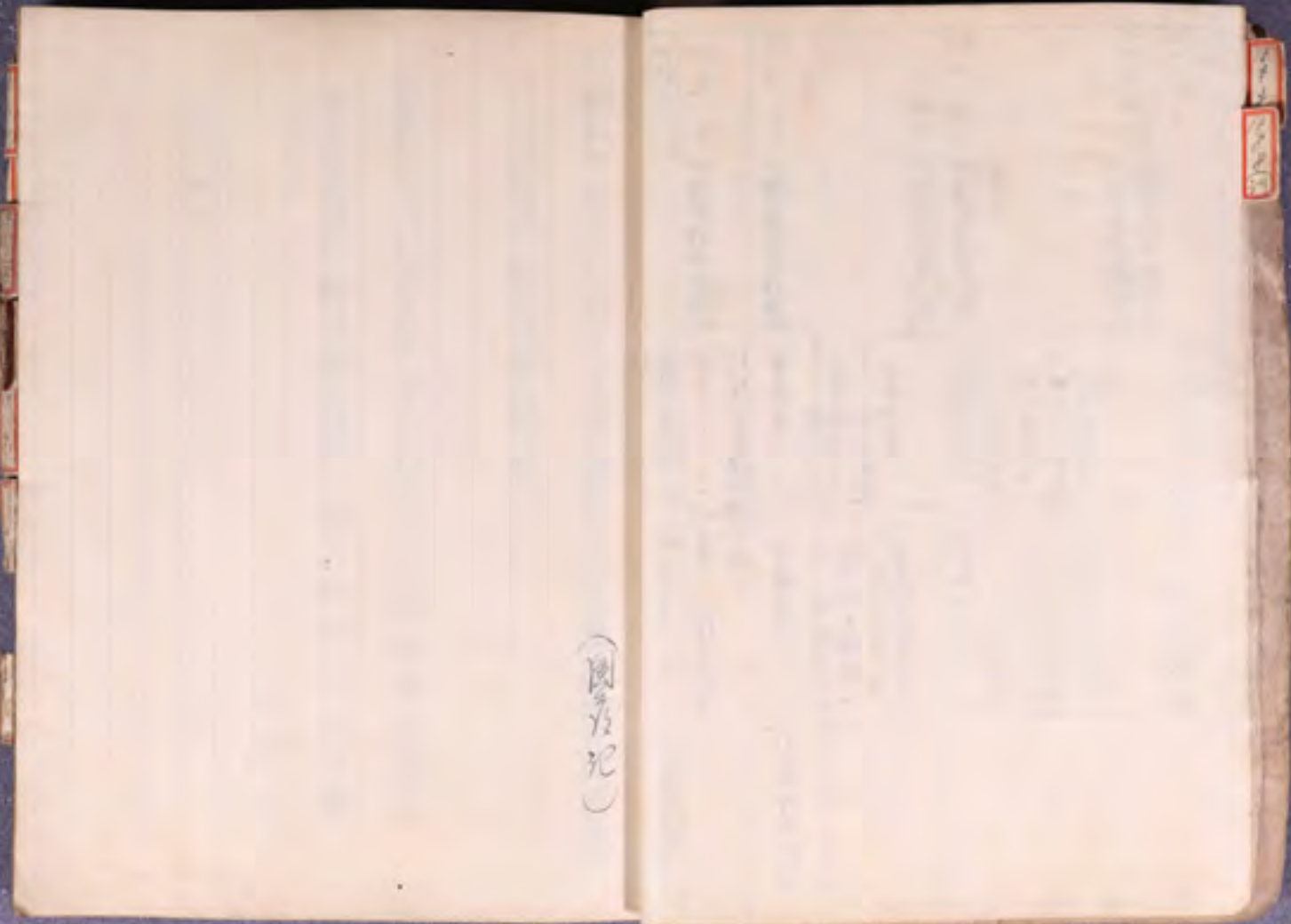
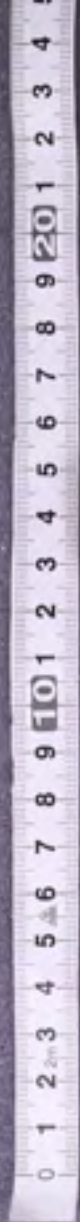
等、(備考)

防室訓練報告

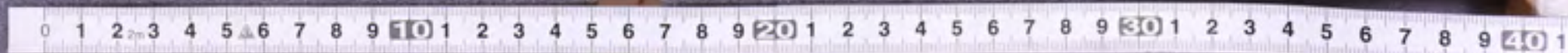








(國字記)



○ 昭和十七年八月十二日 午前十一時 遊藝會 報告令

——十四日、遊藝會報告令

一、昭和十七年八月十日(水) 十四時三十分 遊藝會報告令

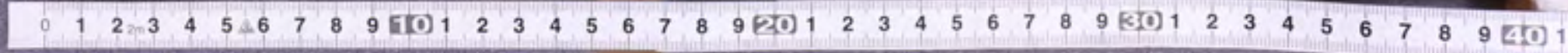
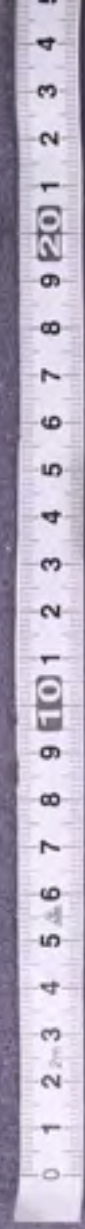
矢部教授、野田助教授、橋本助午墨田書房。

(團員記)

一、松岡助午 吉田助午 十二日 夜間・演道

田島常十三

(吉田記)





○ 昭和十七年九月三十日——十月一日 (製成報)

一 昭和十七年九月三十日(水)午前十一時製成報社發令

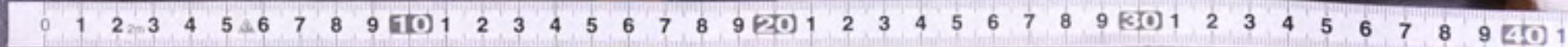
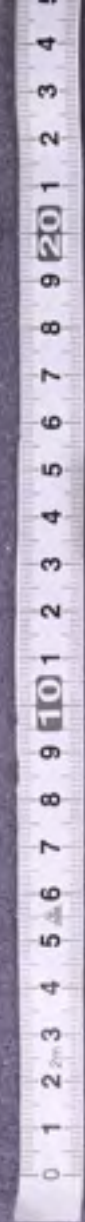
晝同当番 田中二郎、刑部、松岡

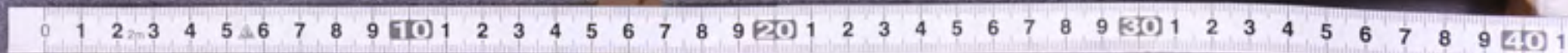
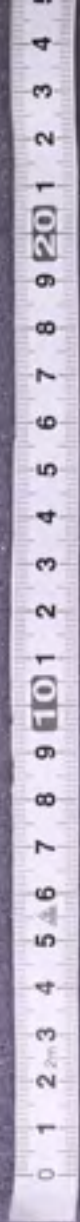
里伏ナシ (刑部記)

一 昭和十七年九月三十日夜間宿直入

宿直者 佐藤、石岡、助子

吳女ナシ (石岡記)





十月一日 (木)  
 午後十二時  
 警戒 警戒解除  
 午前十一時  
 午後三時  
 (20)



○ 此本一冊 七年十一月二十二日一十二月二十二日(天照日)

一 此本十七年十一月二十二日(天照日)午後十時半頃學成寺觀音堂  
外日經殿柱礎礎一上(右左)

墨蹟(上)

一 此本十七年十一月二十二日(天照日)

一 此本十七年十一月二十二日(天照日)午後十時半頃學成寺觀音堂  
外日經殿柱礎礎一上(右左)

墨蹟(上)

一 此本十七年十一月二十二日(天照日)

(本相記)

一十一月二十二日(天照日)

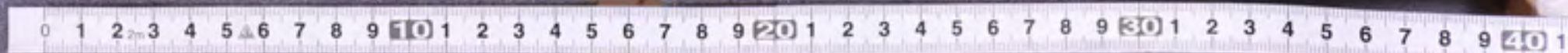
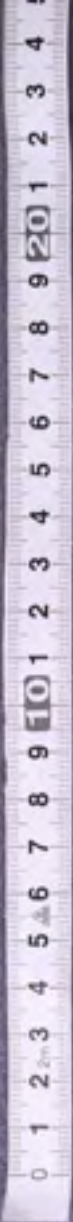
異狀(上) 高野(山在妙)

一 昭和十七年十一月二十四日(天照日)

高野(山在妙) 過 高野寺 畫問古書

高野寺武藏張神陰

(附之記)



○防空訓練

四月十七日(水) 基本訓練

下午一時、團長率兵班長、班附及警備員三

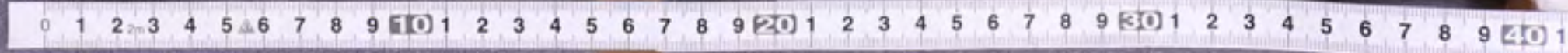
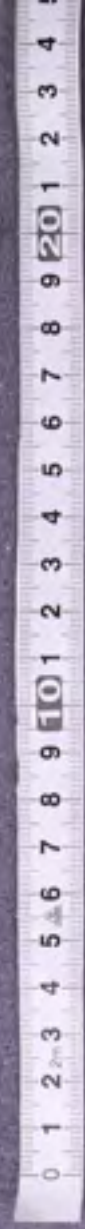
才三十一名、教習四二名、

團長訓示、臨場班長說明、

學意、作進訓練、

午後三時、全員卸裝、配量、

防空訓練及防毒面於前者訓練實施。



OpCARD 10





昭和十七年十二月十一日(金) 鎌倉河津

午前一部

七時分

九三六

九四七

一〇〇〇  
一〇〇〇  
一〇〇〇

河津早稲一畝

河津早稲一畝

河津早稲一畝

河津早稲一畝

河津早稲一畝

河津早稲一畝

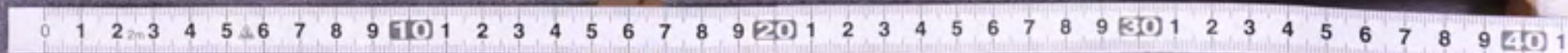
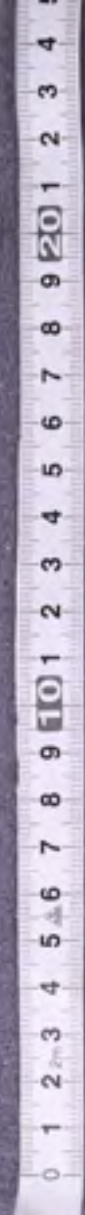
河津早稲一畝

河津早稲一畝

河津早稲一畝

河津早稲一畝

河津早稲一畝











考  
考  
考

本以國長 十智利國長 公長考長 國長  
史山務務物物長 平本國大國長 公國長

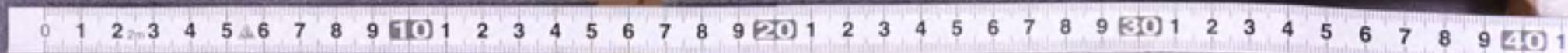
考

年  
年  
年

考  
考  
考

備考

一 古日 厚尺洲使 歸時手部 存生 汗部 手部  
二 古日 厚尺洲使 歸時手部 存生 汗部 手部  
三 古日 厚尺洲使 歸時手部 存生 汗部 手部





○ 昭和十七年十二月十二日—十三日(警成警報)

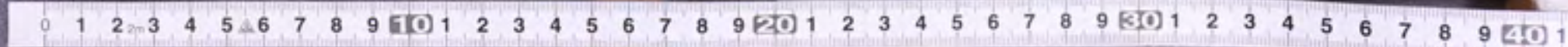
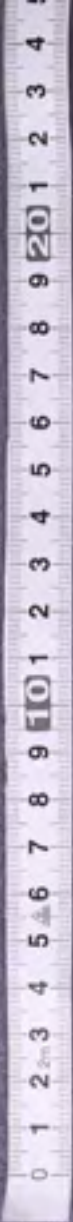
一 昭和十七年十二月十三日(土)午後十一時半警成警報発表

十三日午前 丸山助教授書巻(十二日夜の浮城……)

通福園(十……)十四日早朝(……) (……) 右出

既(……) 異状……

(十三日) 國史記













○昭和十八年四月四日——九日

一、昭和十八年四月四日(日)午後八時四十分至九時報告令  
小幡到園長室  
手極助教授 任三條助手少務直

田中幸十

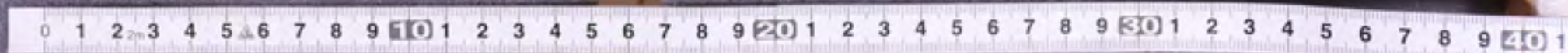
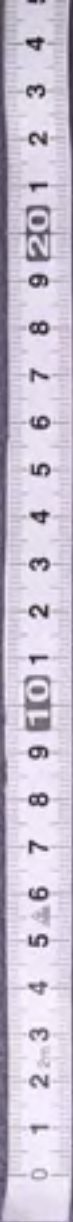
(園長日記)

一、昭和十八年四月五日(月)

園長教授 石井初教授 小山初十 日蓮系  
昨日三引續小幡の成物に報告令付 田中幸十  
末極助教授 任三條助手少務直  
一、昭和十八年四月六日(火)

(田中日記)

養育者 三川石井 長教授末極助教授 田中幸十  
小幡助



昭和十八年四月廿一日

丸山助教殿 取用御于 富直

奥平

取用御

昭和十八年四月廿一日 (水)

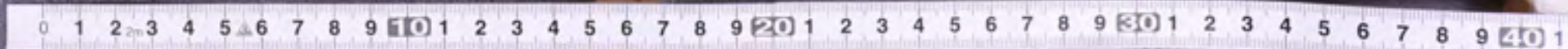
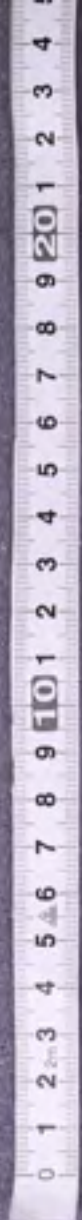
奥平番 入保水殿 園藤則家殿 杯助

奥平

杯助

奥平十七年四月廿七日 奥平

奥平助平 小山助平 高直 奥平身殿 列位 奥平中  
(小山 取)



OpCARD 10

昭和十八年四月八日(木)

一 引渡、送、式、實例、施了、喜同当番、野田、高野、山本  
要水、

一 夜同宿直、野田、山、要水、(野田記)

昭和十八年四月九日(金)

一 引渡、聖、式、實例、施行、書同当番、川島、丸上、松岡  
要水、

一 午後五時、榎、式、聖、報、解除、(吉田記)

OpCARD 10





昭和十八年五月十四日(金)

一 豊岡市店 又印刷取送手紙中取送 山平町中  
引取中 寄成原町 肥後中 山平町中

(未納宛)

一夜間宿直

計 冊 創 設 山 平 町 中

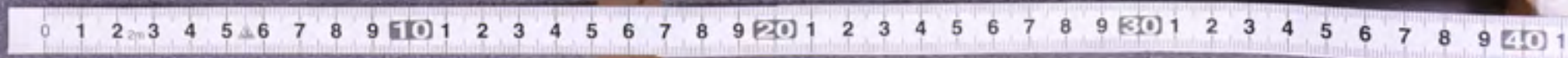
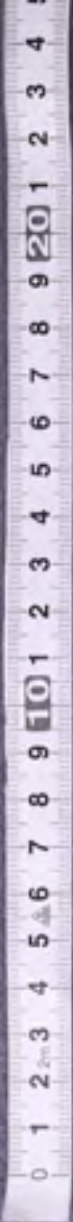
宿直警務課制施行 山平町中 豊岡市店

(計 誌)

昭和十八年五月十日(土)

一 豊岡市店 宮宿校後、又任所支校  
小山町中 幾合今午 吳次十三  
十六時警務課警報解除。

(久保記)



昭和十八年九月一日(水)

午後六時四十分 野成野坂町合

一、鈴木政経(鎌倉)

田中芳興

野田芳興

丸山利雄(鎌倉)

一、野田、丸山(西名) 夜間(福直)

一、異事(十一)

(丸山記)

昭和十八年九月二日(木)

一、二所日に引續き 野成野坂町 異事(十一)

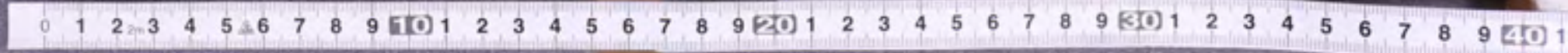
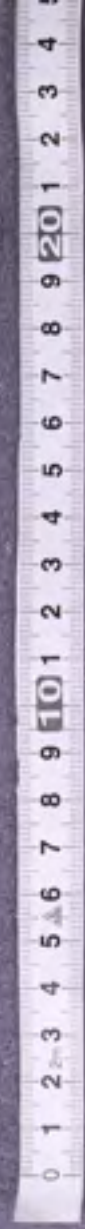
一、末迄(参興) 石井(照) 参興 吉田 書内(常番)

(吉田記)

二夜間宿直 米栖初教授 天谷助子  
引續ヤ警戒管制施行セラルモ異状ナシ (天谷記)

昭和十八年八月三日 (金)

一書相當番 安井壯毅段 山崎壯毅段 小山助子  
引續ヤ警戒管制施行 十二時五十分警報解除  
警戒管制施行中 異状ナシ  
(安井記)



昭和十九年二月五日(土)

本学ニ於テ「コノ日、防空活動推進委員会」ガ行ハレ、支部、内務、  
東部、中部、西部、都府庁ノ防空委員由官長及都下大宇  
方等々、四学校防室主任等、来学シテ、二、三、四、ノ防空活動状況  
ヲ報告セリ。土曜日、訓練作業、五ノ如シ。

金

九、三〇

訓練室式習習会(同日ニ後者中止)

九、四〇

訓練室式習習会

九、五〇

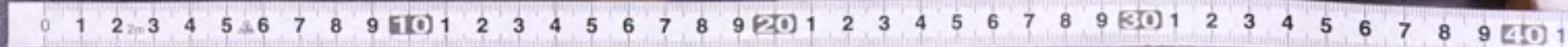
仮署駐務本署(空田簿本上ニナリ)

〇、〇〇

二、由工部局、消防隊、消防隊見学行ハレ

〇、〇〇

二、由、防空部、防空部見学行ハレ



OpCARD 10

附考初稿上最

一、一〇

二、一一〇

一、一四〇

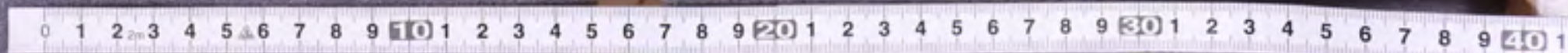
一、一五〇

訓殊空響響報新除  
訓殊空響響報新陸

〔一、一四〇〕ヨリ上と全休行ニ於テ取元其法を同備

た、其、訓殊又其ハ主トシテ程科田協定部ニ付テ予定花サ  
シラレモ、予定部ニ付テ、中其部及協部へ付テトシテ予定花サ  
并況既亦其、協部未其、同協部(出)トシテ、如ク以道シ、協力  
ロシメテ其外、予定部ニ付テトシテモ、其傳解概未其時、待リ、

予定部及、予定部及、山上同協部、其ニ既テ予定トシ、  
予定部及、訓殊ヲ行ハリ、其日ノ其部及、其部及、其部及、  
外ニ其部及、予定部及、其部及、其部及、其部及、  
訓殊ヲ行ハリ、其部及、其部及、其部及、其部及、  
(丹山記)



OpCARD 10

昭和十一年五月二十日午後一時三十分陸軍省議事會

田中總務局長、陸白副局長、吉岡少将、伊藤、若賀、岡村、

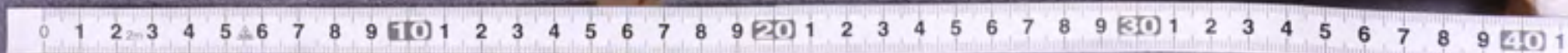
佐登、内子。

一、文部、陸白、西島、美枝、吉岡、少将、加藤、野矢、佐登、

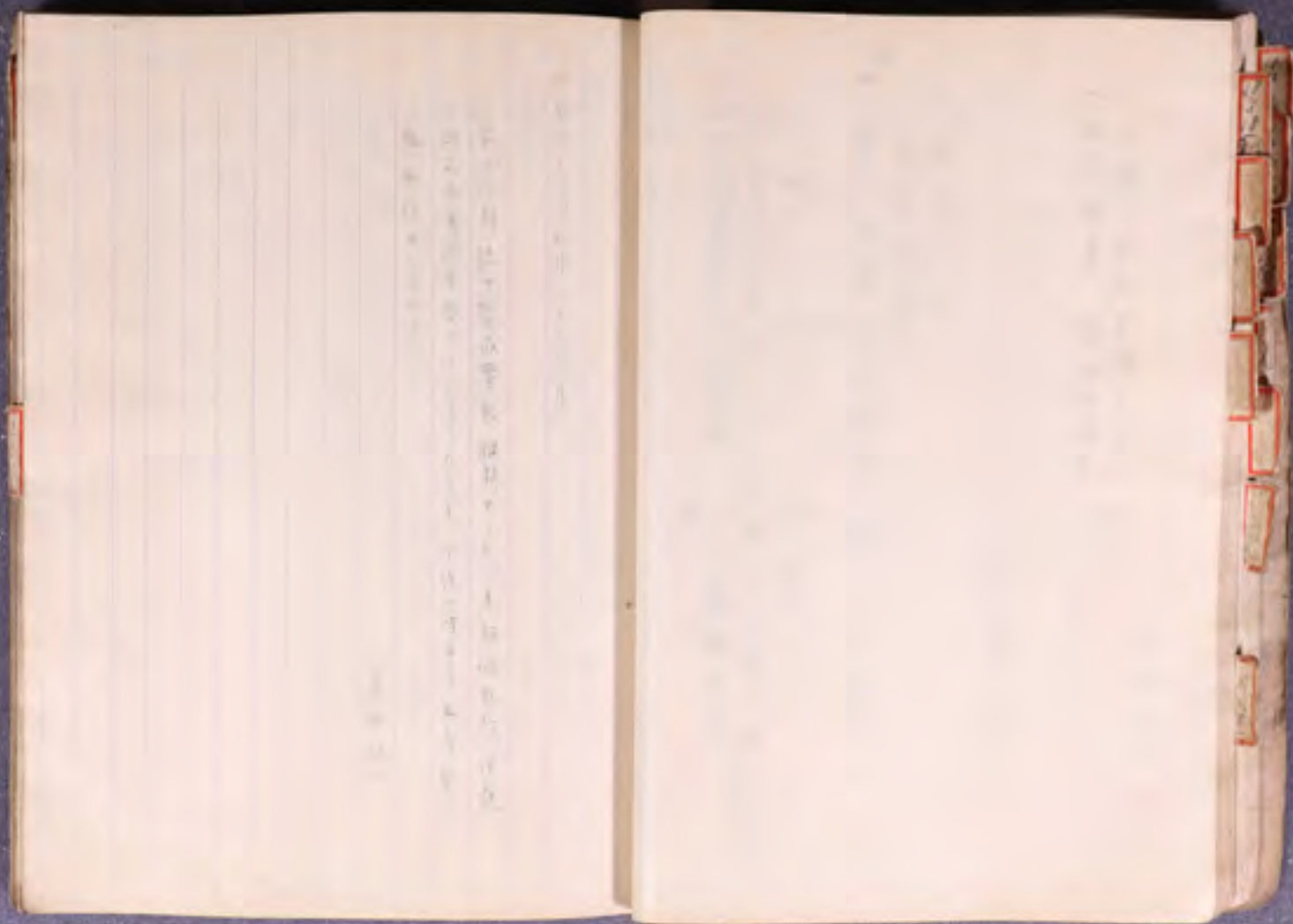
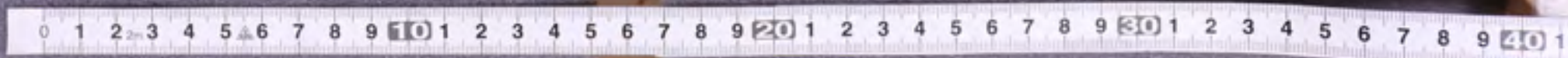
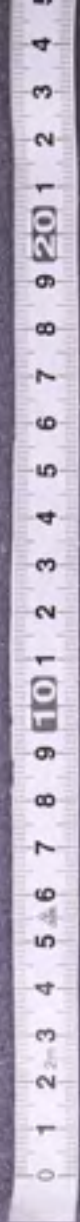
真。

一、陸軍省、一、佐登、

(文部 記)









昭和十九年七月四日(月) 壬午 六時 武蔵野新聞  
一日 鈴木教授 江川教授 天澤研究室

一 異常

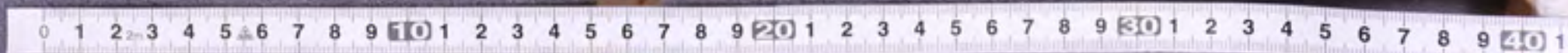
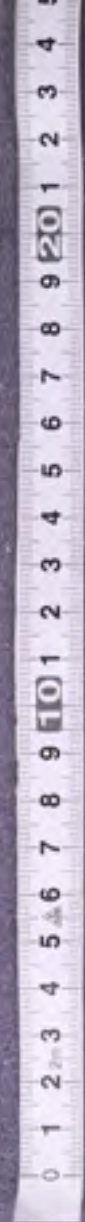
一 夜間宿直 末桶助教 石川、小林、加藤各研究室

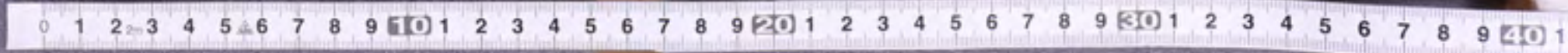
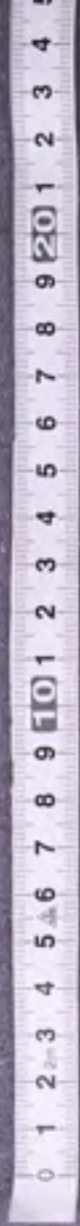
一 引續十聲成聲言報下ニア。久島、硫黄島ニ敵機動部隊

未装。米國獨立記念日ヲ迎ヘテ緊張セシ。異常ナシ。

一 空襲ニ備ヘ夜待参シ未五合ヲ炊。 (加藤記)

一 五日朝 4200個ノ配給ヲ受。



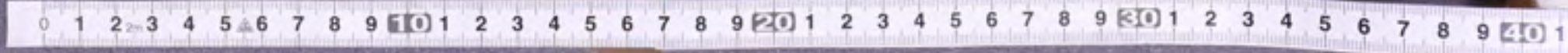


(巻四九)

昭和十九年七月五日(水) 外遊中 参式参賀完全中  
一日直 福井 森本 森田 加子 佐野 敏夫  
(以上皆参式)

*[Faint handwritten text, mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.]*





昭和十九年八月五日(土)

一 日食 矢部 為 後 (註) 木部 端 化

一 里 狀 十 七

一 十 信 一 呼 三 十 八 盛 王 成 學 報 解 除

( 不 知 記 )

昭和十九年九月十九日(土)

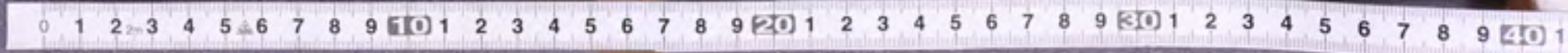
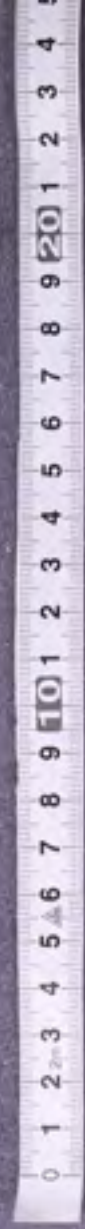
昭和十九年九月十九日(土) 午前十時中 警務署報費全  
一日直 岡教授(臨時) 石井(長) 教授 加藤(研) 完全  
用意(端) 稿(了) 成(候) 了(得) 内(午) 后(二) 時(過) 二(警) 務(署) 報  
解(附) 上(了)

(加藤記)

昭和十九年十一月一日(水) 午前十時中 警務署報費全  
一日直 岡教授(臨時) 石井(長) 教授 加藤(研) 完全  
用意(端) 稿(了) 成(候) 了(得) 内(午) 后(二) 時(過) 二(警) 務(署) 報  
解(附) 上(了)

昭和十九年十一月一日(水) 午前十時中 警務署報費全

昭和十九年十一月一日(水) 午前十時中 警務署報費全  
用意(端) 稿(了) 成(候) 了(得) 内(午) 后(二) 時(過) 二(警) 務(署) 報  
解(附) 上(了)



OpCARD 10

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

昭和十九年十一月五日(日)

午前九時三十分頃 警務部 推定令  
 午後十時三十分頃 空襲警報 推定令  
 日産小山島島 船中 行先  
 百千二島 船中 行先

昭和十九年十一月五日(日)

午後十時三十分頃 警務部 推定令  
 午後十時三十分頃 空襲警報 推定令

(小山記)

(小山記)

昭和十九年十一月五日(日)

午後十時三十分頃 警務部 推定令  
 午後十時三十分頃 空襲警報 推定令

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

[Faded handwritten text on the left page]

昭和十九年十一月六日(月)

[Faded handwritten text on the right page]

于前土時三分位發覺報解際 此の向專者也  
自まつたに發覺我輩多詔甘解際すれり矣今中  
于後二時三十分發覺我輩報解際 此の向專者也 (小山記)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25



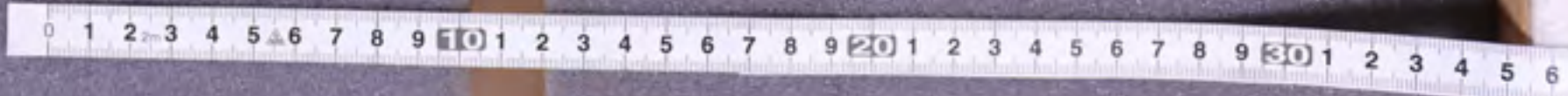
OpCARD 10

能元平  
卷不序

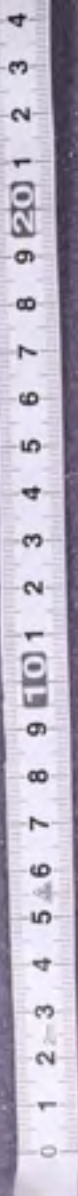
石	兼	山	鈴	原	田	大	江	村	官	前	不	煩	政	南	高	小	神	田	木	高	津	尾	
子	中	水	水	田	部	川	村	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
長	一	竹	廣	義	長	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮	榮
助	一	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部

這口元野茶園又利山川橋石字  
 官山田稻麻保部田島井中  
 清和吳良工重玉 茂勇照  
 明大勇之部光播莊茂宜部又帶

OpCARD 10







昭和十九年十一月六日(月)

丁卯九時三十分(急電)報告

日通、東田教授(臨時)、綿貫研三王、加藤研三王

和歌山、伊豆、宇治、北土中、情報(ラジオ)

正午(七時) 急電報告所届上(加藤記)

昭和十九年十一月七日(火) 休晴

午後一時(急電)報告

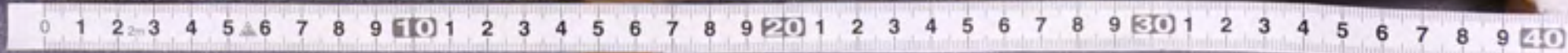
引渡午後一時(急電)報告

日通、山根研三王、加藤研三王

午後二時(急電)報告

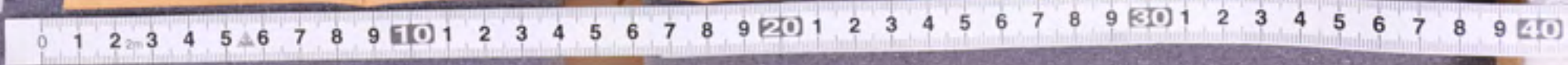
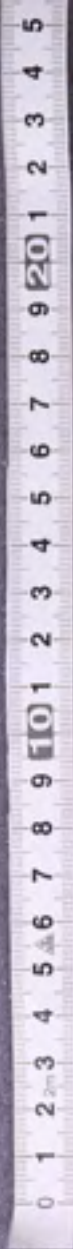
午後三時三十分(急電)報告所届

(加藤記)













昭和十九年十一月二十五日(日)

二十日一時三十分 警報 報告

二十日一時三十分 警報 報告 一機 幸都 上空に上り

二十日一時三十分 警報 報告 上空に敵機一機

二十日一時三十分 警報 報告 解除

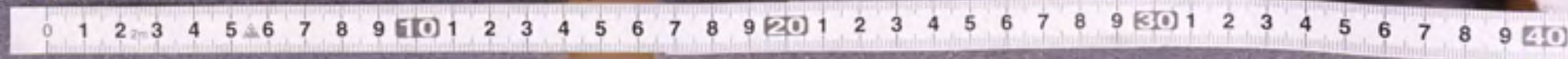
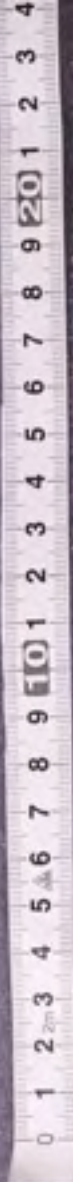
二十日一時三十分 警報 報告 解除

二十日一時三十分 警報 報告 解除

二十日一時三十分 警報 報告 解除

多敷

(綿貫記)



OpCARD 10



昭和十九年十一月二十七日 日

正木 隆 宛 奉 答 状

承り申上り、各社奉答状、

一、臨時部、

二、臨時部、

三、臨時部、

四、臨時部、

五、臨時部、

六、臨時部、

七、臨時部、

八、臨時部、

九、臨時部、

十、臨時部、

十一、臨時部、

十二、臨時部、

十三、臨時部、

十四、臨時部、

十五、臨時部、

十六、臨時部、

十七、臨時部、

十八、臨時部、

十九、臨時部、

二十、臨時部、

二十一、臨時部、

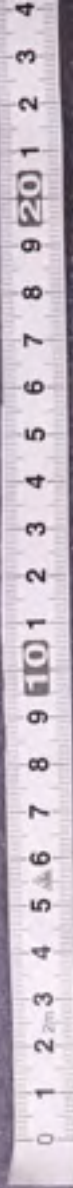
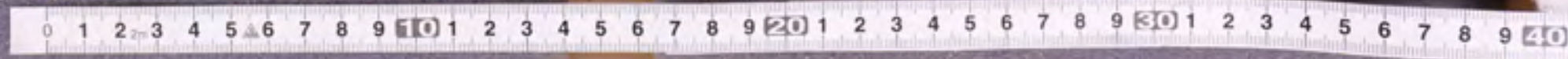
二十二、臨時部、

二十三、臨時部、

二十四、臨時部、

二十五、臨時部、

二十六、臨時部、



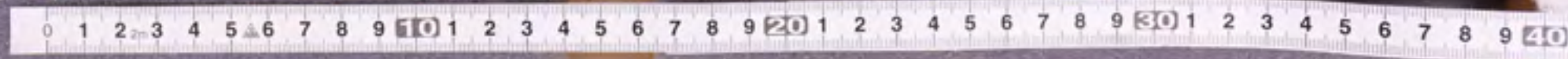
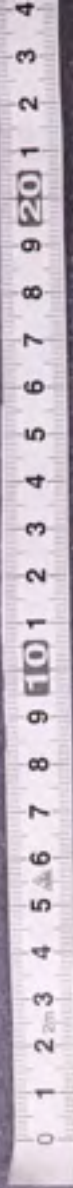


昭和十九年十一月二十三日(水)  
二十九日午後十一時五分警報警報発令 同日の分急報警報発令  
三ノアチ基此より来襲せし敵機は市中に墜機爆撃あり大炎を発生  
ヤノク下より 研究官には警戒なし

宿直 矢澤 研究官 池原 研究官  
田中(三) 飯後 伊藤・飯部 両研究官 他 研生 約十二名 来襲一直終  
三ノアチ午前三時五分急報警報 次ノ警報警報解除  
然るに三時五十分頃再び警報警報 次ノ急報警報発令  
前回は林風状爆撃あり 大炎を発生し 研究官は警戒あり

田中(三) 飯後 伊藤・飯部 研究官 各々 研生 未詳  
午前四時三十分急報警報 次ノ急報警報解除  
本日一如長時間より夜間急報に際し 警報内の停機設備は既に  
準備を成した

(文部記)





昭和十九年十二月九日(土曜日)

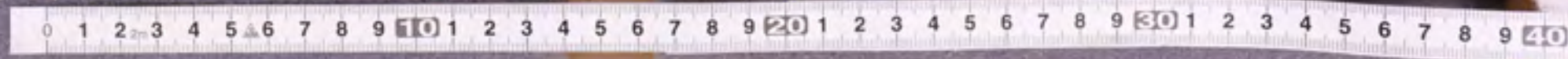
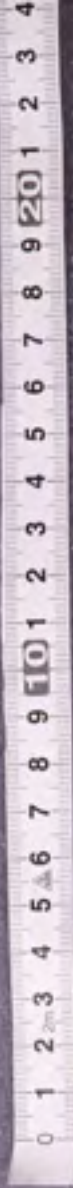
午前三時十分 警報発令。敵機一機 伊豆方面より北上中ノ  
情報アリ。南ノナリ敵機が都立上空に現レ。煙氣濃厚ノ下ニシ  
テ、東京海上ニ去リテ、ソノ南に警報発令ナリ。所ニモ見  
状ナレ。午後三時五十分。警報復發。相模原。吉田呢靴。池原。時景。研究生  
等。夜間ハ神道。丸山。山崎。伊藤。服部。研究主。外  
大。警報復發。今ノ時ニ。此間。伊藤。服部。研究主。外  
學生。三名。至。警報セリ。

丸山記

同日

午前九時四十分 警報復發。相模原。吉田。研究主。  
警報復發。小中。研究主。服部。研究主。

警報復發



昭和十九年十一月九日(五) (不承)

午後八時五十分 武蔵野報社へ 函 概行期を以て 南下時より 概五時

より 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時

共計 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時

と云ふ 函 概五時

概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時

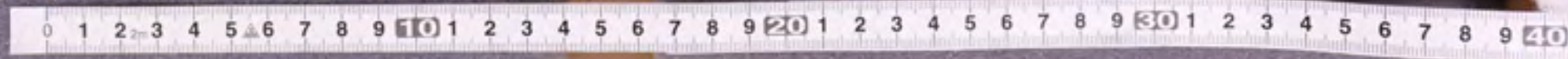
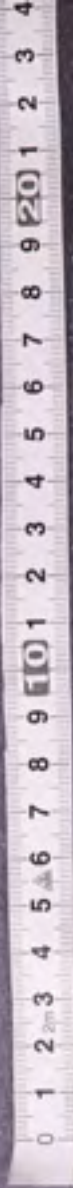
概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時

概五時

(由六日午後七時 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時 函 概五時)

可なり

(生二氏記)



OpCARD 10











昭和十九年十一月十一日

一、新十分學友會報告

一、秋田縣土地整理委員會報告

一、昭和三十二年分學友會報告

一、山形縣土地整理委員會報告

一、秋田縣報告

昭和十九年十二月十五日(金)

一、昭和三十二年分學友會報告

一、秋田縣土地整理委員會報告

一、昭和三十二年分學友會報告

一、秋田縣土地整理委員會報告

一、昭和三十二年分學友會報告

一、秋田縣土地整理委員會報告

一、昭和三十二年分學友會報告

一、秋田縣土地整理委員會報告

一、昭和三十二年分學友會報告

一、秋田縣土地整理委員會報告

一、昭和三十二年分學友會報告

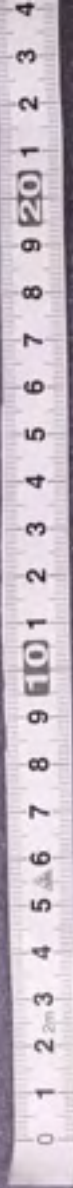
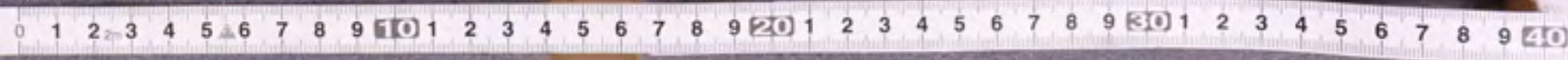
一、秋田縣土地整理委員會報告

一、昭和三十二年分學友會報告

一、秋田縣土地整理委員會報告

一、昭和三十二年分學友會報告

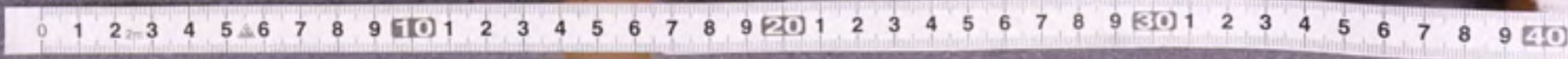
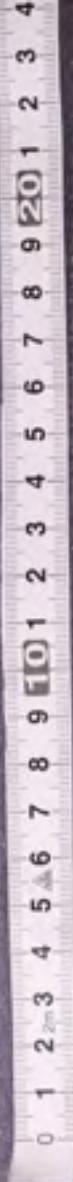
一、秋田縣土地整理委員會報告



即初十九年十二月十八日(月)

午後〇時半 警視廳多額完全 麻坑北と上在下  
牛野軍官隊に向ひ 全漢地は麻坑才人多  
午後二時(二時) 警察署武多額解凍  
日色 原吉敷隊一不内 助多(大) 小(小) 助多(大) 助多(大)

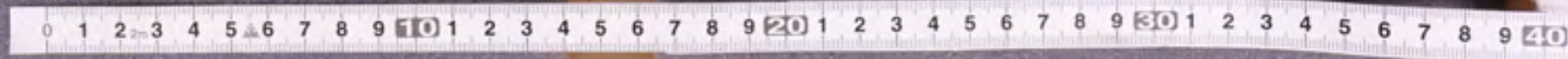
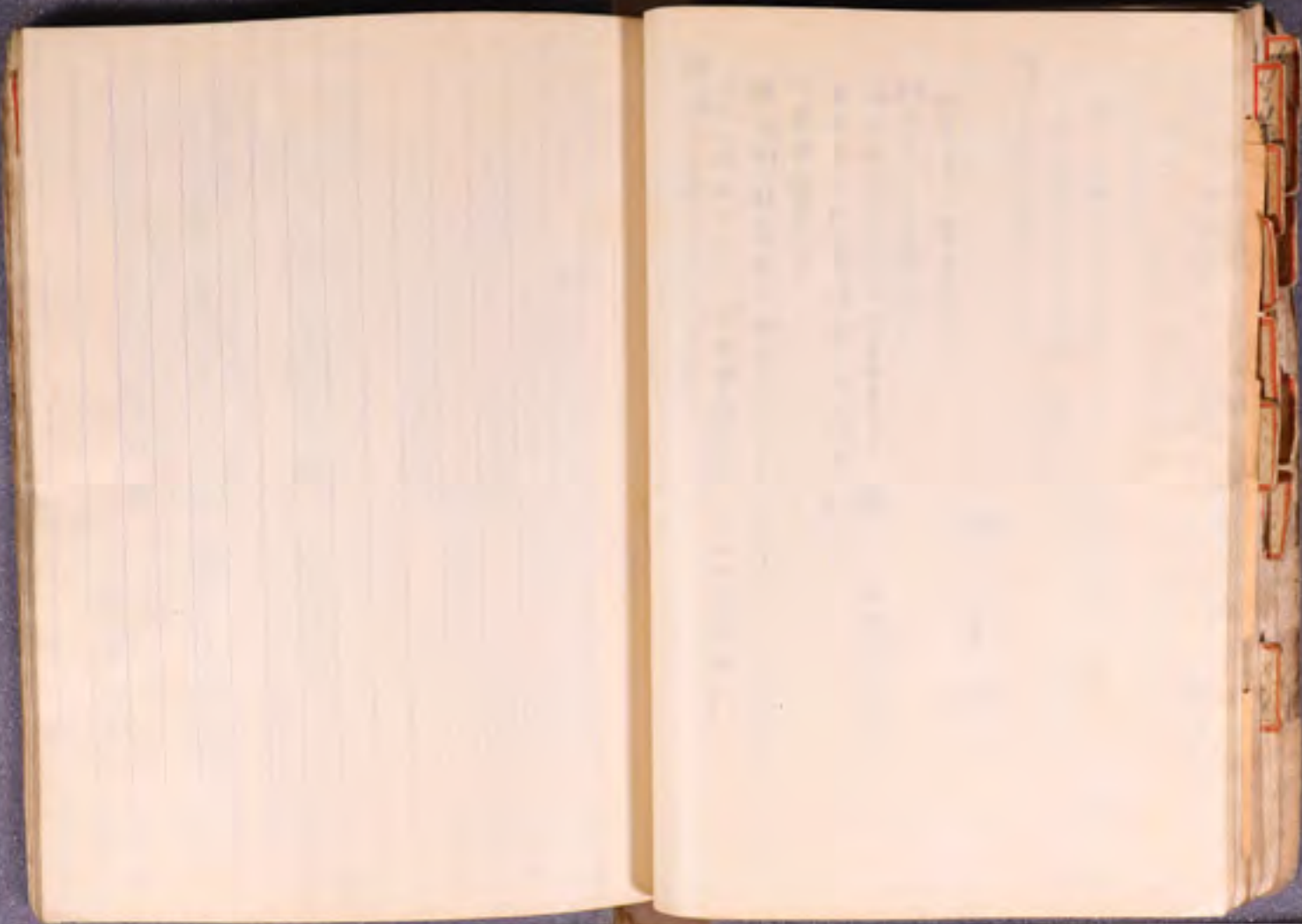
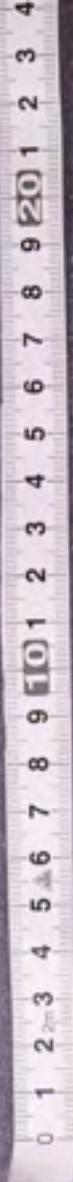
松岡 助多

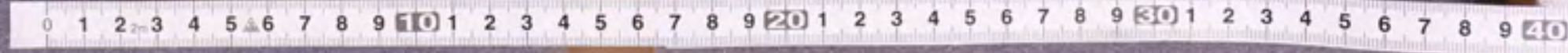






OpCARD 10





昭和九年十一月二十一日、木一

一、高野山 高野山 高野山 高野山 高野山  
一、高野山 高野山 高野山 高野山 高野山  
一、高野山 高野山 高野山 高野山 高野山  
一、高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

昭和九年十一月二十一日、木一

昭和九年十一月二十一日、木一  
一、高野山 高野山 高野山 高野山 高野山  
一、高野山 高野山 高野山 高野山 高野山  
一、高野山 高野山 高野山 高野山 高野山  
一、高野山 高野山 高野山 高野山 高野山

雑記





十九年十月廿一日

一、三時半 野成野山

一、三時半 野成野山

一、三時 野成野山

一、三時 野成野山

一、三時 野成野山

一、三時 野成野山

昭和十九年十月廿一日

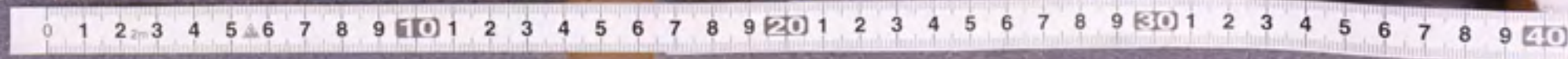
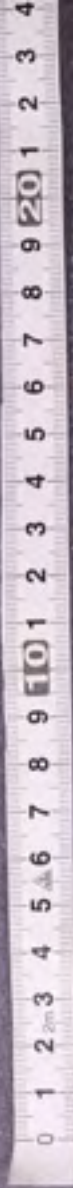
一、三時 野成野山

一、三時 野成野山

一、三時 野成野山

一、三時 野成野山

一、三時 野成野山



OpCARD 10





0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4

(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助)

(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助)

(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助)

(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助)

(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助)

(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助)

(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助)

(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助)

(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助) 一、昭助、佐助、及下、平道、(昭助)

昭和二十一年一月一日

[Faint handwritten text on the right page]

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



一月四日

午後七時十五分 警戒警報発令

頭一機 舞鶴地方に侵入 （舞鶴） 捕虜 十名 （舞鶴） 捕虜 十名

関東地区に侵入 （三浦） 南方洋上へ退去

午後七時半分 警戒警報解除

研空室（其状）

富田 末柄助教授 山根研先生 守安 （研空室） 清水手原員

自五時（水前）

午前四時十分 警戒警報発令 敵機南方より舞鶴地方に侵入 東北へ退去

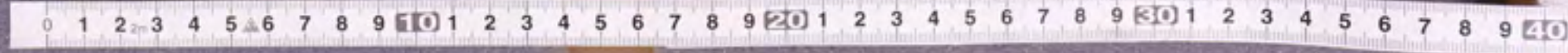
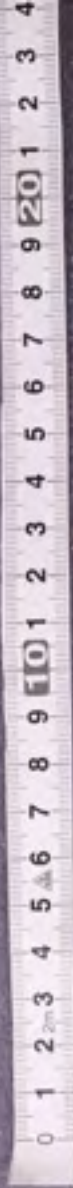
舞鶴地方に侵入 （舞鶴） 捕虜 十名

舞鶴地方に侵入 （舞鶴） 捕虜 十名

舞鶴地方に侵入 （舞鶴） 捕虜 十名

舞鶴地方に侵入 （舞鶴） 捕虜 十名

舞鶴地方に侵入 （舞鶴） 捕虜 十名



OpCARD 10

一月五日

午後八時三十分 聖武院 板敷合

飯十粒 膳室 飯室 飯室

飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室

飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室

午後十時三十分 聖武院 板敷合

一月六日(土) 夜

飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室

飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室

飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室

飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室 飯室

OpCARD 10





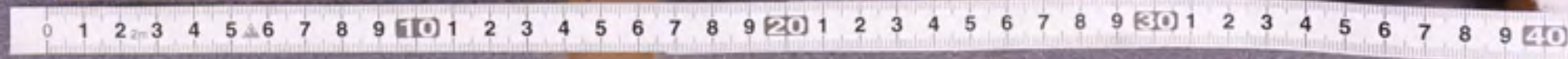
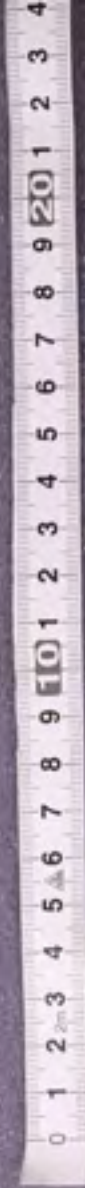




昭和二年一月十七日  
 于多田时四十七分多我乘船左岸一航 西岸于国東  
 地江江入し、幸渡地江江入り二と可く南方に延在せり  
 于多田时四十分武多帆即降  
 北江  
 江田教板 丸山物船及、折田切り  
 (折田船)

昭和二年一月十七日  
 于多田时四十七分多我乘船左岸一航 西岸于国東  
 地江江入し、幸渡地江江入り二と可く南方に延在せり  
 于多田时四十分武多帆即降  
 北江  
 江田教板 丸山物船及、折田切り  
 (折田船)

十一日 夜  
 于多田时五十分武多帆即降  
 十時三十分  
 解舟  
 地江江入し、幸渡地江江入り二と可く南方に延在せり  
 于多田时四十分武多帆即降  
 北江  
 江田教板 丸山物船及、折田切り  
 (折田船)



OpCARD 10

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

一、

二、

三、

四、

五、

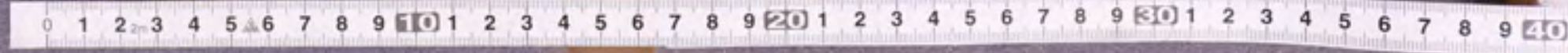
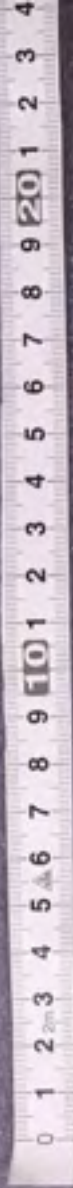
六、

七、

八、

九、

十、



一月二十七日(土) 日記

村中移履 河玉研卷石 山脈研卷石

午後一時 始成翠嶺 二 被障面地 三 田舎地 四 入嶺

後は船橋... 止持中

二時 至 寺 宿 第一 坊 用 十 七 横 橋 段 橋 入

本 脚 東 北 山 道 一 段 橋 橋 障 三 箇 段 下 火 災 後 主

及 池 上 野 古 面 障 川 古 面 針 碕 古 面 火 災 後 主

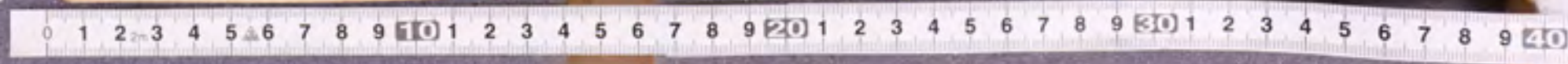
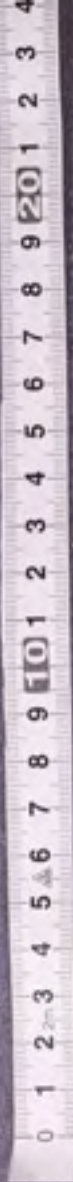
甚 間 新 改 築 五 科 同 河 波 杖 法 都 十 一

大 學 出 立 後 安 南 一 能 下 一 國 際 中

空 際 無 事 結 算 済

村 中 宿 舎 一 付 芝 刈 機 車 火 災 後 一 使 用 中 一 付

新 築 宿 舎 水 下 部 十 一 時 十 分 火 災 中 一 付



OpCARD 10





0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

OpCARD 10

午前八時二十五分 警視廳 報告  
九時五十分 解散  
午後二時 南東地区に於て  
午後二時 解散

午後八時半迄の宿直  
田中教授 藤村研究室 片岡研究室 中尾氏  
午後九時 大井教授 片岡研究室

午後九時 解散

午後九時 解散  
午後九時 解散

午後九時 解散  
午後九時 解散

午後九時 解散  
午後九時 解散

午後九時 解散  
午後九時 解散

午後九時 解散  
午後九時 解散





0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

OpCARD 10

二月十日  
 三十一日  
 二十日  
 十九日  
 十八日  
 十七日  
 十六日  
 十五日  
 十四日  
 十三日  
 十二日  
 十一日  
 十日  
 九日  
 八日  
 七日  
 六日  
 五日  
 四日  
 三日  
 二日  
 一日

二月十日(土) 宿屋 宇野研定主 木野福池 清水井 陸田  
 (江野松波曲直のり定代中より日電江迄陸田のり) 陸田

(丸山記)

本日(土) 宿屋ハイツにモ 幸部三徳メスルコトナラシメテ  
 子役イノ後、五ノ森上ニ遊ヒ去ス  
 一六〇〇 野成報館 陸田 野成報館 野成報館

十一月一日

十一号

聖武學報完了。

飯一機 伊豆平島より南東地へ侵入、南半田北半

田へ及轉、示信地と推定す。以上、飯上

十一月四日

聖武學報解説

(以上守記)

午後一時半迄

伊藤研究主 吉田研究主

日通

福井教授

伊藤研究主

吉田研究主

(以上吉田記)

二月十二日(日)

日通 村田教授 田中、本和世の

予子丸馬田より分布、分布、分布

飯一機

伊豆平島より南東地へ侵入

田中北半田へ及轉、示信地と推定す。以上、飯上

十一月二十二日

聖武學報

(以上守記)

吉田

研究主

OpCARD 10







0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

二月十日  
 一、...  
 二、...  
 三、...  
 四、...  
 五、...  
 六、...  
 七、...  
 八、...  
 九、...  
 十、...

二月十日  
 一、...  
 二、...  
 三、...  
 四、...  
 五、...  
 六、...  
 七、...  
 八、...  
 九、...  
 十、...

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30





0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

二月二十二日  
 午後一時十五分 登り我登る報見令 報一機 長野山部より田土平野  
 ↓山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は  
 山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は  
 山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は  
 山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は

午後一時十五分 登り我登る報見令 報一機 長野山部より田土平野  
 ↓山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は  
 山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は  
 山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は  
 山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は

二月二十二日  
 午後一時十五分 登り我登る報見令 報一機 長野山部より田土平野  
 ↓山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は  
 山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は  
 山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は  
 山部山の上の山中にも方成り山部山に降り来る中にも二機あり、その二機は

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

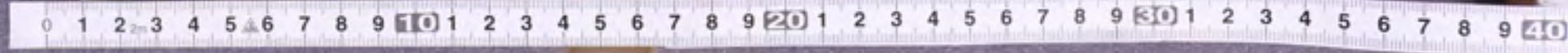
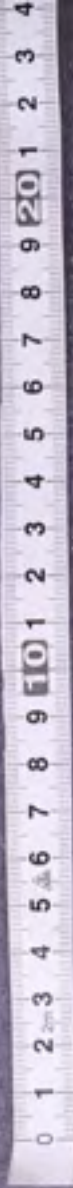






Handwritten text in Chinese characters, likely a list or record, covering the left page of the notebook. The text is arranged in several vertical columns.

Handwritten text in Chinese characters, likely a list or record, covering the right page of the notebook. The text is arranged in several vertical columns.



OpCARD 10







0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4

三月十七日(木)  
午前七時半學政學報發令(一) 午後二時 車無く 危機去りたる  
五時にて 午前八時十五分 傳報放送を中止し 今後必要あらば  
丁度再吹鳴を(一) 小こころ存し  
所在より宿直員 未始助教 綿貫 守安 研究員  
(守安記)  
一 學政學報午後三時半解除  
日中蓋着 原田教授 早稲川教授 池原川定三  
(原田記)

三月十八日(金)  
午前八時 學政學報發令(一) 午後二時 車無く 危機去りたる  
五時にて 午前八時十五分 傳報放送を中止し 今後必要あらば  
丁度再吹鳴を(一) 小こころ存し  
所在より宿直員 未始助教 綿貫 守安 研究員  
(守安記)  
一 學政學報午後三時半解除  
日中蓋着 原田教授 早稲川教授 池原川定三  
(原田記)

三月十九日(土)  
午前八時 學政學報發令(一) 午後二時 車無く 危機去りたる  
五時にて 午前八時十五分 傳報放送を中止し 今後必要あらば  
丁度再吹鳴を(一) 小こころ存し  
所在より宿直員 未始助教 綿貫 守安 研究員  
(守安記)  
一 學政學報午後三時半解除  
日中蓋着 原田教授 早稲川教授 池原川定三  
(原田記)

三月二十日(日)  
午前八時 學政學報發令(一) 午後二時 車無く 危機去りたる  
五時にて 午前八時十五分 傳報放送を中止し 今後必要あらば  
丁度再吹鳴を(一) 小こころ存し  
所在より宿直員 未始助教 綿貫 守安 研究員  
(守安記)  
一 學政學報午後三時半解除  
日中蓋着 原田教授 早稲川教授 池原川定三  
(原田記)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

OpCARD 10

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

三月二十一日(水)

日通 菊中教后 山本中子 池原 野宮子

二、三泊一舟シテ先ノ草敷野ノ報 宿舎 — 日通一枚山梨地ニシテ  
 田舎市北野ノ下ニ宿舎南ノ下田舎ノ野ノ下ニ宿舎申島ノ下ニ宿舎  
 (多志) — 二舟ナシ。詳談

三月二十一日(水)

午後四時十分 管成警察交令 日通一枚因東地区ニ未獲セリ  
 東京地区ニ往候入セ下

午後七時十分 管成警察交令 日通一枚因東地区ニ未獲セリ  
 東京地区ニ往候入セ下

日通 未之取候 鈴之取候 日通一枚因東地区ニ未獲セリ

三月二十日(火)

午後九時十分 管成警察交令 日通一枚因東地区ニ未獲セリ  
 東京地区ニ往候入セ下

午後九時十分 管成警察交令 日通一枚因東地区ニ未獲セリ  
 東京地区ニ往候入セ下

日通 未之取候 鈴之取候 日通一枚因東地区ニ未獲セリ

十三時三十分 管成警察交令 日通一枚因東地区ニ未獲セリ  
 (管成)

十三時三十分 管成警察交令 日通一枚因東地区ニ未獲セリ  
 (管成)

日通一枚因東地区ニ未獲セリ  
 東京地区ニ往候入セ下

日通一枚因東地区ニ未獲セリ  
 東京地区ニ往候入セ下

日通一枚因東地区ニ未獲セリ  
 東京地区ニ往候入セ下

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24



OpCARD 10











0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4

四月  
 四月廿一日 禮拜一 晴  
 四月廿二日 禮拜二 晴  
 四月廿三日 禮拜三 晴  
 四月廿四日 禮拜四 晴  
 四月廿五日 禮拜五 晴  
 四月廿六日 禮拜六 晴  
 四月廿七日 禮拜日 晴  
 四月廿八日 禮拜一 晴  
 四月廿九日 禮拜二 晴  
 四月三十日 禮拜三 晴

五月  
 五月一日 禮拜一 晴  
 五月二日 禮拜二 晴  
 五月三日 禮拜三 晴  
 五月四日 禮拜四 晴  
 五月五日 禮拜五 晴  
 五月六日 禮拜六 晴  
 五月七日 禮拜日 晴  
 五月八日 禮拜一 晴  
 五月九日 禮拜二 晴  
 五月十日 禮拜三 晴  
 五月十一日 禮拜四 晴  
 五月十二日 禮拜五 晴  
 五月十三日 禮拜六 晴  
 五月十四日 禮拜日 晴  
 五月十五日 禮拜一 晴  
 五月十六日 禮拜二 晴  
 五月十七日 禮拜三 晴  
 五月十八日 禮拜四 晴  
 五月十九日 禮拜五 晴  
 五月二十日 禮拜六 晴  
 五月二十一日 禮拜日 晴  
 五月二十二日 禮拜一 晴  
 五月二十三日 禮拜二 晴  
 五月二十四日 禮拜三 晴  
 五月二十五日 禮拜四 晴  
 五月二十六日 禮拜五 晴  
 五月二十七日 禮拜六 晴  
 五月二十八日 禮拜日 晴  
 五月二十九日 禮拜一 晴  
 五月三十日 禮拜二 晴

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



Opisano 10





0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

五月十日(土) 宿色 本物如夜夜 必無 日無 必川 野色也  
 三時頃學成學後者今 臥 疾マ、 必川に於て本變 前二清は及澤也  
 七時頃 研中在に果者カ、 二、 必川に於て  
 十日夜半一ツツ大官隨にヨリ 電氣水道カ入者止了 宿色工士便也、 (古川記)

五月十一日(土) 宿色 本物如夜夜 必無 日無 必川 野色也  
 五時頃 研中在に果者カ、 二、 必川に於て  
 十日夜半一ツツ大官隨にヨリ 電氣水道カ入者止了 宿色工士便也、 (古川記)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

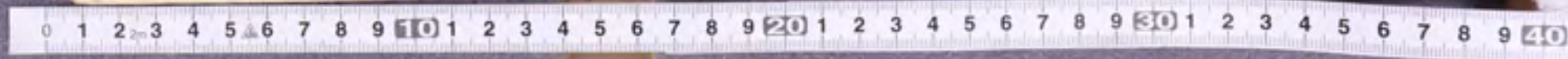
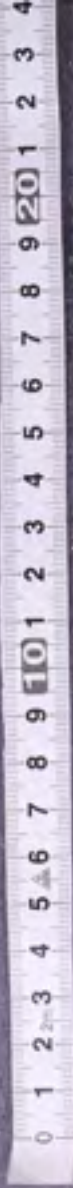
五月十一日(土) 宿色 本物如夜夜 必無 日無 必川 野色也  
 五時頃 研中在に果者カ、 二、 必川に於て  
 十日夜半一ツツ大官隨にヨリ 電氣水道カ入者止了 宿色工士便也、 (古川記)

五月十二日(土) 宿色 本物如夜夜 必無 日無 必川 野色也  
 五時頃 研中在に果者カ、 二、 必川に於て  
 十日夜半一ツツ大官隨にヨリ 電氣水道カ入者止了 宿色工士便也、 (古川記)









四月二十日 日誌 土打部隊

一七時三十分 陸軍部報告  
一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告

一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告

一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告

一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告

一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告

四月二十一日 日誌 陸軍部報告

一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告

一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告

一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告

一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告

一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告

四月二十一日 日誌 陸軍部報告

一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告

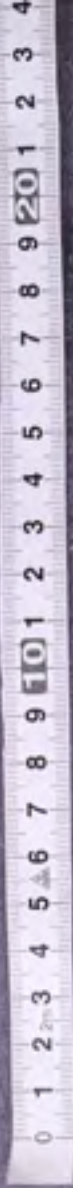
一八時三十分 陸軍部報告  
二十時三十分 陸軍部報告



OpCARD 10

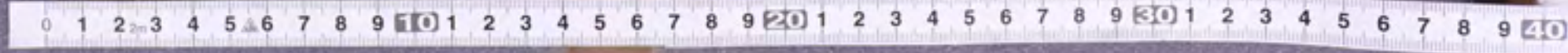


Орское 10



五月五日(一) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(二) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(三) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(四) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(五) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(六) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(七) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(八) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(九) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(十) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、

五月五日(一) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(二) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(三) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(四) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(五) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(六) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(七) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(八) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(九) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、  
 五月五日(十) 夜 原田教授、田中博士、松岡博士、は、於て、



五月十日(金)晴

午後十一時五分(工日)三時零分(出令)警成警

報發令 福一様侵入 同七一時五分解除

信直 福井(石井)教授 久保助教授 吉田陽

五月十一日(金)

午五時八分二十八分警成警報發令 B29 様侵入

同八時五五分解除

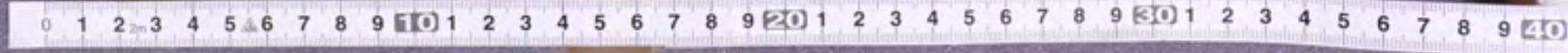
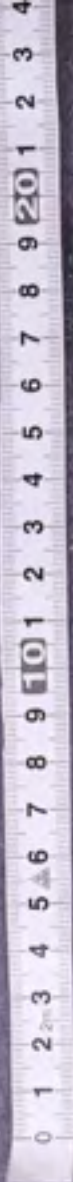
同十一時五五分解除

五月十二日(日)

午五時四十分警成警報發令

同五時四十分解除

早通(直)左井(直)



Op CARD 10



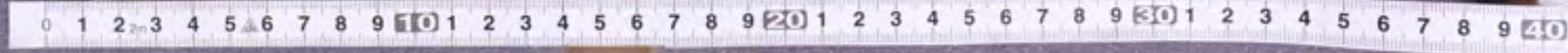
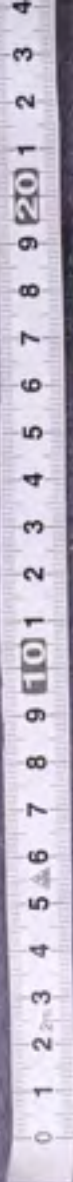




所に居りて火災 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り

四

火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り  
火の音 火の音 橋大なるに居りて 師範校に別 火災に成り



Opako 10





0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

六  
五月二十日(金) 原田教授  
正午 聖武學堂 報告今日 月 日 二樓 肉庫 地方 二樓 入 十二時 二十分 漸涼  
(原田教授)

五月二十日(金) 原田教授  
正午 聖武學堂 報告今日 月 日 二樓 肉庫 地方 二樓 入 十二時 二十分 漸涼  
(原田教授)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

六月十日(月)  
 九時 櫻井 坂 日 功 一 阪 山 製 糖 工 場 北 進 及 新  
 宿 下 京 港 地 三 三 入 東 京 湾 兩 渡 浦 水 戸 南 考 考  
 東 北 迄 廣 島 瀬 川 東 方 浦 上 邊 去 日 王 京 考 海 上 考 北  
 迄 一 後 東 方 浦 上 三 邊 去 九 時 三 十 分 解 岸  
 日 直 山 田 助 政 校 吉 田 晴 地 久 保 則 政 校  
 原 田 的 校 (山田記)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

六

六

六月十日(月)  
 九時 櫻井 坂 日 功 一 阪 山 製 糖 工 場 北 進 及 新  
 宿 下 京 港 地 三 三 入 東 京 湾 兩 渡 浦 水 戸 南 考 考  
 東 北 迄 廣 島 瀬 川 東 方 浦 上 邊 去 日 王 京 考 海 上 考 北  
 迄 一 後 東 方 浦 上 三 邊 去 九 時 三 十 分 解 岸  
 日 直 山 田 助 政 校 吉 田 晴 地 久 保 則 政 校  
 原 田 的 校 (山田記)

OpCARD 10





0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

Handwritten notes on the left page, including a circled number 10 and various vertical columns of text.

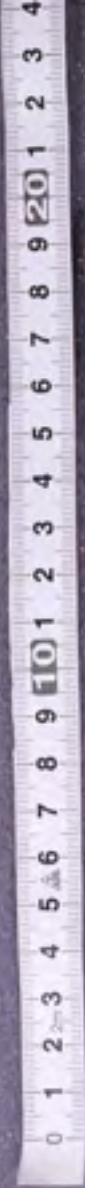
Handwritten notes on the right page, including a circled number 20 and various vertical columns of text.

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40



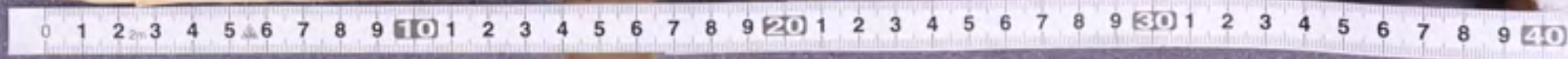
Opako 10





七月六日(金)  
 午前十時警戒警報發令 砲數機二機又二機が、関東  
 地区に分散未歸下関し早く解除  
 十一時五十分面警戒警報發令 十二時十分空襲警報發令  
 約三十機より編隊として小型機多数機を面に来襲。一時十分  
 空襲警報解除 局も早く警戒警報解除  
 多分(小便室) 掘りまわしからず (山内地)  
 午後十一時警戒警報發令 十二時十分空襲警報發令  
 約三十機より編隊として小型機多数機を面に来襲。一時十分  
 空襲警報解除 局も早く警戒警報解除  
 多分(小便室) 掘りまわしからず (山内地)

七月六日(金)  
 午前十時警戒警報發令 砲數機二機又二機が、関東  
 地区に分散未歸下関し早く解除  
 十一時五十分面警戒警報發令 十二時十分空襲警報發令  
 約三十機より編隊として小型機多数機を面に来襲。一時十分  
 空襲警報解除 局も早く警戒警報解除  
 多分(小便室) 掘りまわしからず (山内地)  
 午後十一時警戒警報發令 十二時十分空襲警報發令  
 約三十機より編隊として小型機多数機を面に来襲。一時十分  
 空襲警報解除 局も早く警戒警報解除  
 多分(小便室) 掘りまわしからず (山内地)







0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

七月十五日(日)  
 日直 杉村教授 石井良(良)教授 山田助教授  
 刑部助教  
 八時警戒 警報發令 湖一極八王才京浜西南多  
 侵入マモロ 解條  
 九時警戒 警報發令 029 一極幸都 侵入間ヒ  
 解條

五

午後十一時二十分 警報發令 湖一極八王才京  
 方格一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京  
 湖一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京  
 湖一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京  
 湖一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京

七月十一日(水)

在通 同中 初級 海軍 地方 備員 地方  
 029 湖一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京  
 湖一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京  
 湖一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京  
 湖一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京

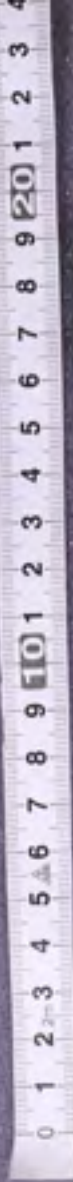
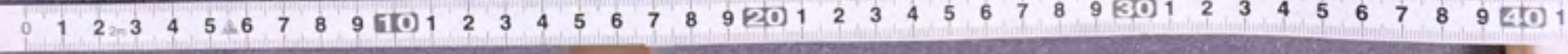
午後十一時二十分 警報發令 湖一極八王才京  
 湖一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京  
 湖一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京  
 湖一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京  
 湖一極八王才京 湖一極八王才京 湖一極八王才京

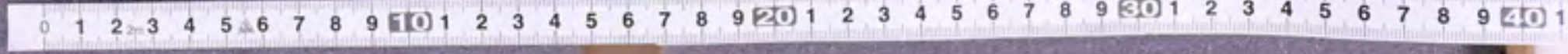
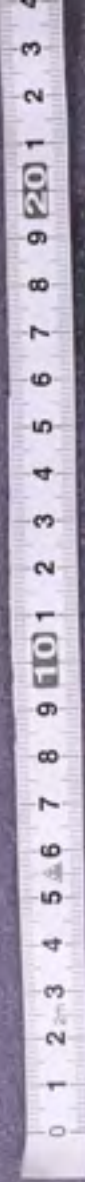
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40

十二時三十分 警成警報發令 既一概相模清ヨリ  
本上二層入 房態ヲ經テ脱去 同モテ解除  
研究室ニ異状ナシ (山田記)

七月十八日(月)

夜十時五十分 警成警報發令 十一時三十分 警報發令 既一少和模敷解除  
主上ノ東邊西面方ニ侵入セリ 十七日午前十時十九分 警報發令解除  
全一概入ノ警報發令解除  
五時十分 警報發令 既一概各地ニ來發  
八時 空投警報解除  
富直 官決安井左後 内田眠地 大早研之至 (大澤記)





七月二十三日(日) 日直 山田助教授 不詳

七月二十四日(火) 日直 山田助教授 不詳

八月五日(日) 九時 不詳  
八月七日(火) 九時 不詳

七月二十日(水) 魚屋 山田助教授 不詳

八月九日(木) 魚屋 山田助教授 不詳

八月十日(金) 魚屋 山田助教授 不詳

八月十七日(火) 魚屋 山田助教授 不詳

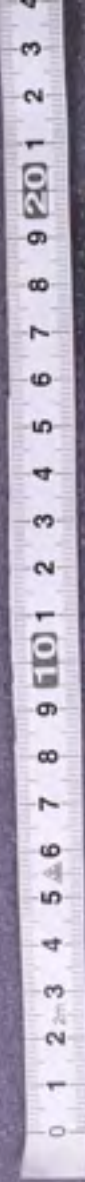
七月二十九日(日曜)

日直 本延教授 鈴木教授 山田助教授 守安

研交室

九時 十時三十分 十一時五十分の三回にわたり 登壇 或は  
報告をせられたことも 研交室より異状なり (山田記)

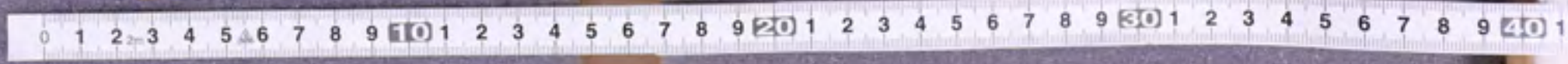




七月十一日(天)

一、二〇〇 葛城郡 報 奏 令  
 二、二〇〇 前 除  
 三、二〇〇 交 令  
 宿 直 田中 石井 雄 研 美 加 研 美 加  
 ( 雁 川 池 )

七月十一日(天)  
 三十一日...  
 宿直...  
 田中...  
 石井...  
 雄...  
 研...  
 美...  
 加...  
 (雁川池)











0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

八月十五日(水)

十時三十分 東京式警報所  
 十時四十分 東京警報 二度発令 B2 多数各地に未  
 十時五十分 空襲警報 極上機未襲  
 十一時 敵機 偵察機は掛りて撃墜するもの若干  
 十一時十分 東京地区防空式警報所解除

八月十五日(水) 東京式警報所  
 十時三十分 東京式警報所  
 十時四十分 東京式警報所  
 十時五十分 東京式警報所  
 十一時 東京式警報所  
 十一時十分 東京式警報所  
 十一時二十分 東京式警報所  
 十一時三十分 東京式警報所  
 十一時四十分 東京式警報所  
 十一時五十分 東京式警報所  
 十二時 東京式警報所

八月十五日(水)

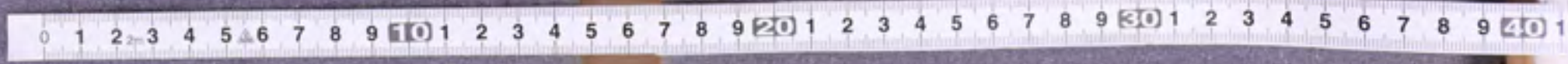
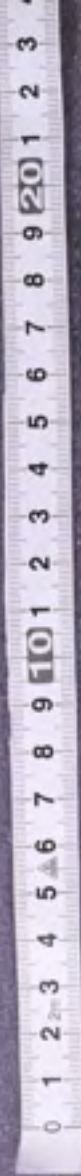
十時三十分 東京式警報所  
 十時四十分 東京式警報所  
 十時五十分 東京式警報所  
 十一時 東京式警報所  
 十一時十分 東京式警報所  
 十一時二十分 東京式警報所  
 十一時三十分 東京式警報所  
 十一時四十分 東京式警報所  
 十一時五十分 東京式警報所  
 十二時 東京式警報所

同日 満洲国駐在 加藤研三  
 八・三五 秘島の警報 發令  
 同モナク解除  
 午後二時 運下發令 同モナク解除  
 午後十二時 警報 發令

(加藤記)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31





急

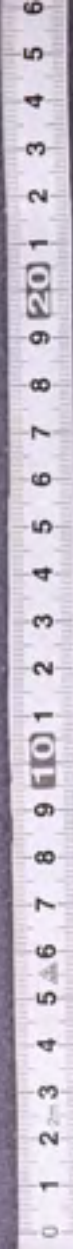
東京大学  
昭和二十一年九月二日

法学部 總務班長 殿

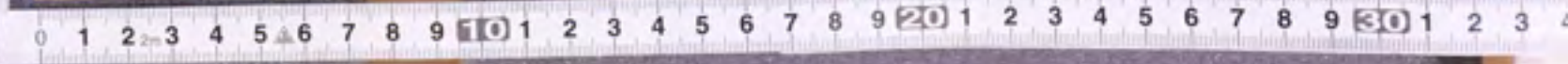
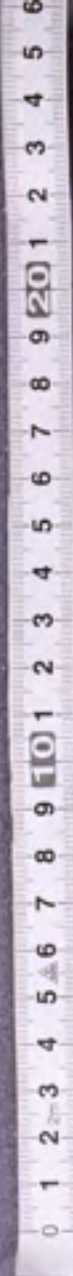
東京大学 法学部 大空真一郎

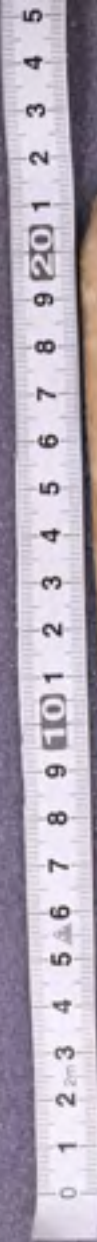


昭和二十一年九月二日附  
以于本附特設以候補委員和候補委員  
定、事後候補委員、附、却候補委員候補委員、  
大講堂花側控室、却委員相續及依命及却委員内應也



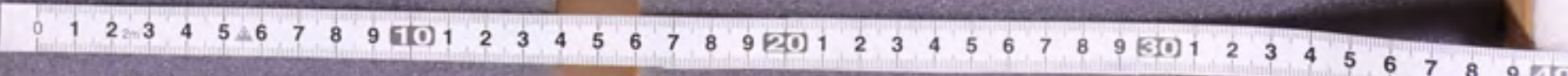
QpCARD NO.





〽  
 昭和二十二年九月二十日  
 古事類聚卷六十一  
 物類考  
 其辭散

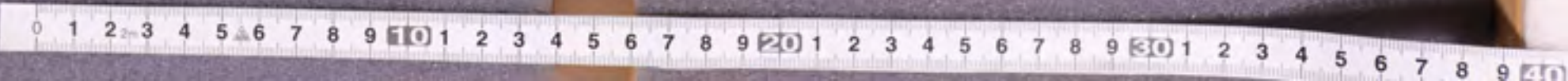
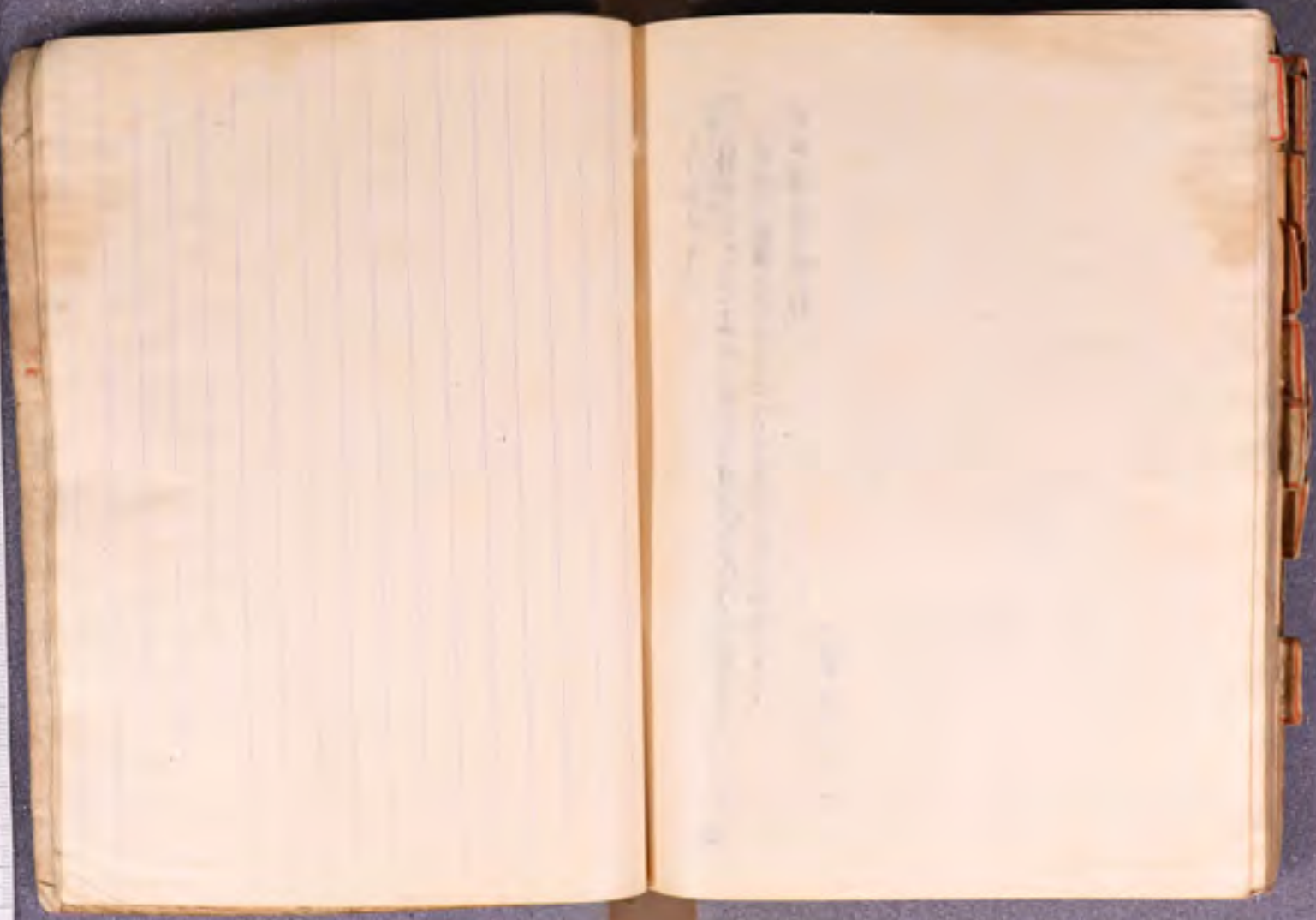
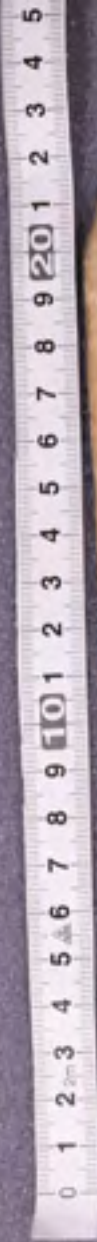
(The right page is mostly blank with some faint bleed-through from the reverse side.)



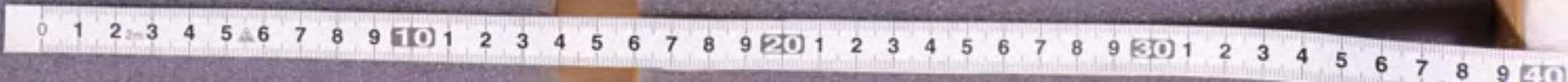
OpCARD 10

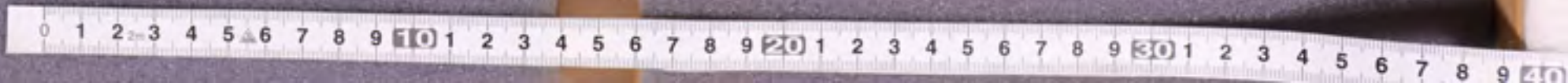
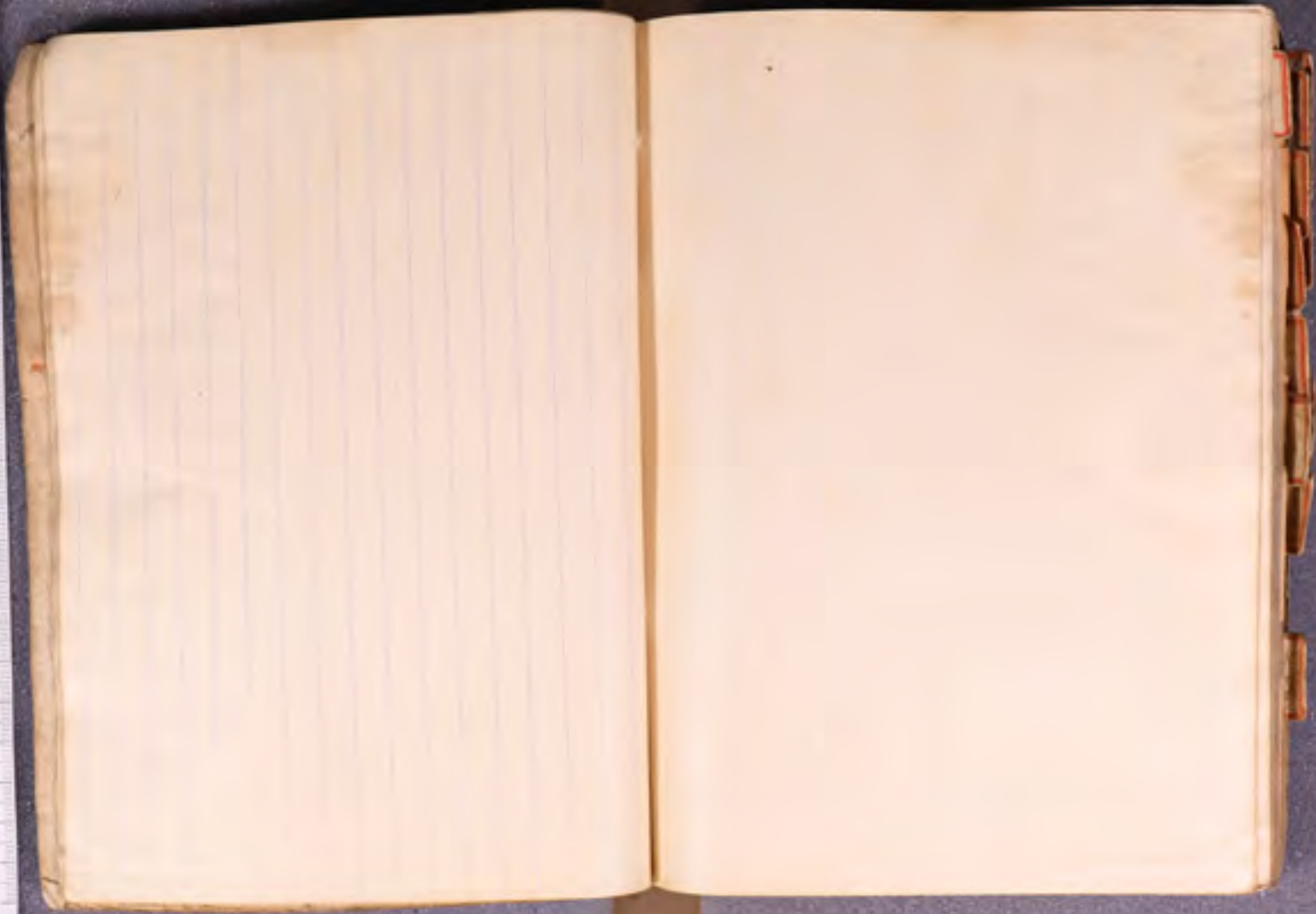


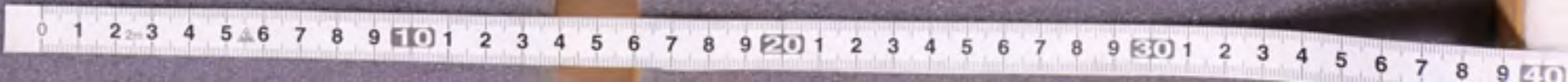
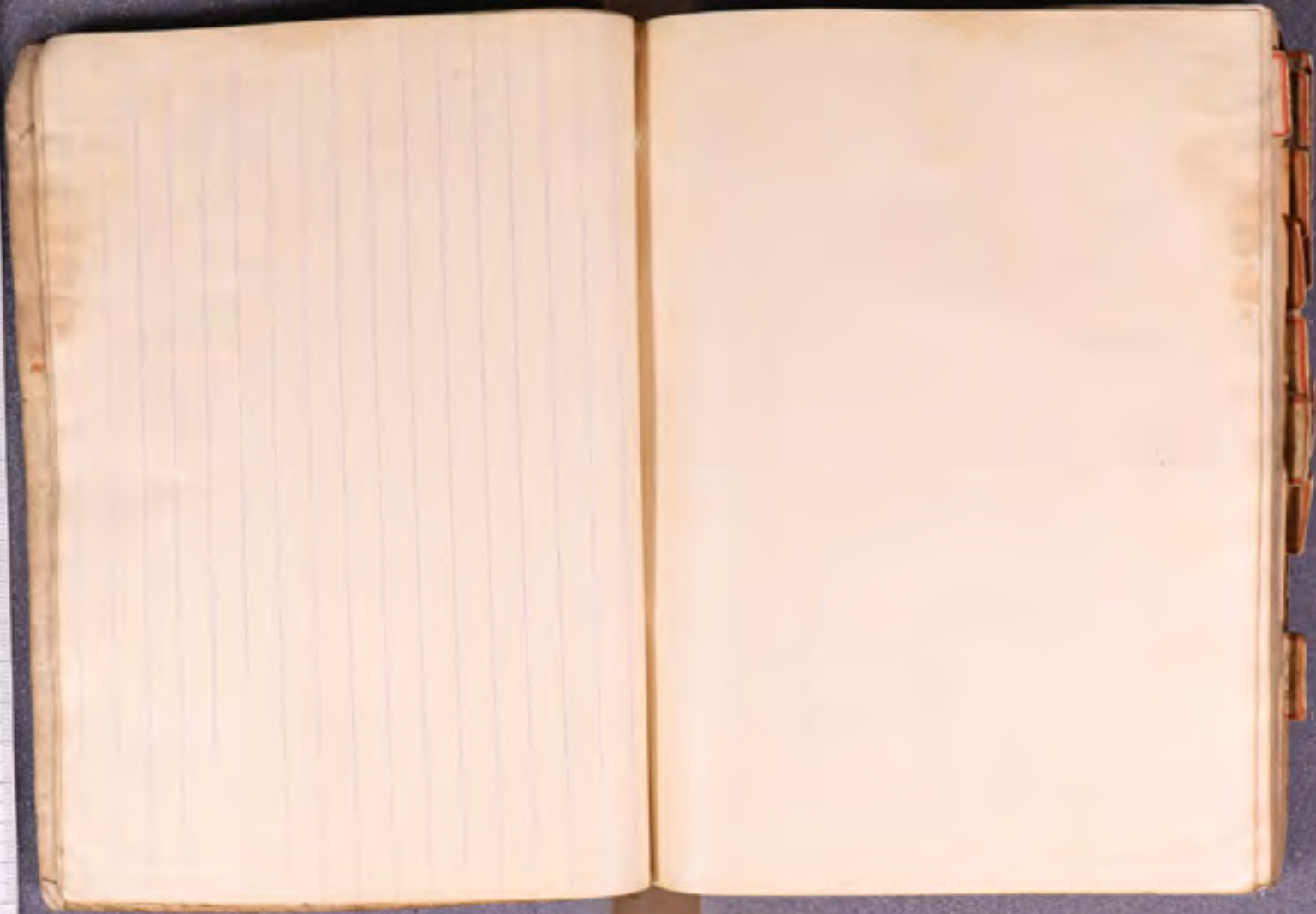


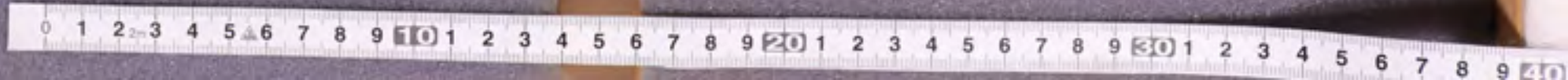
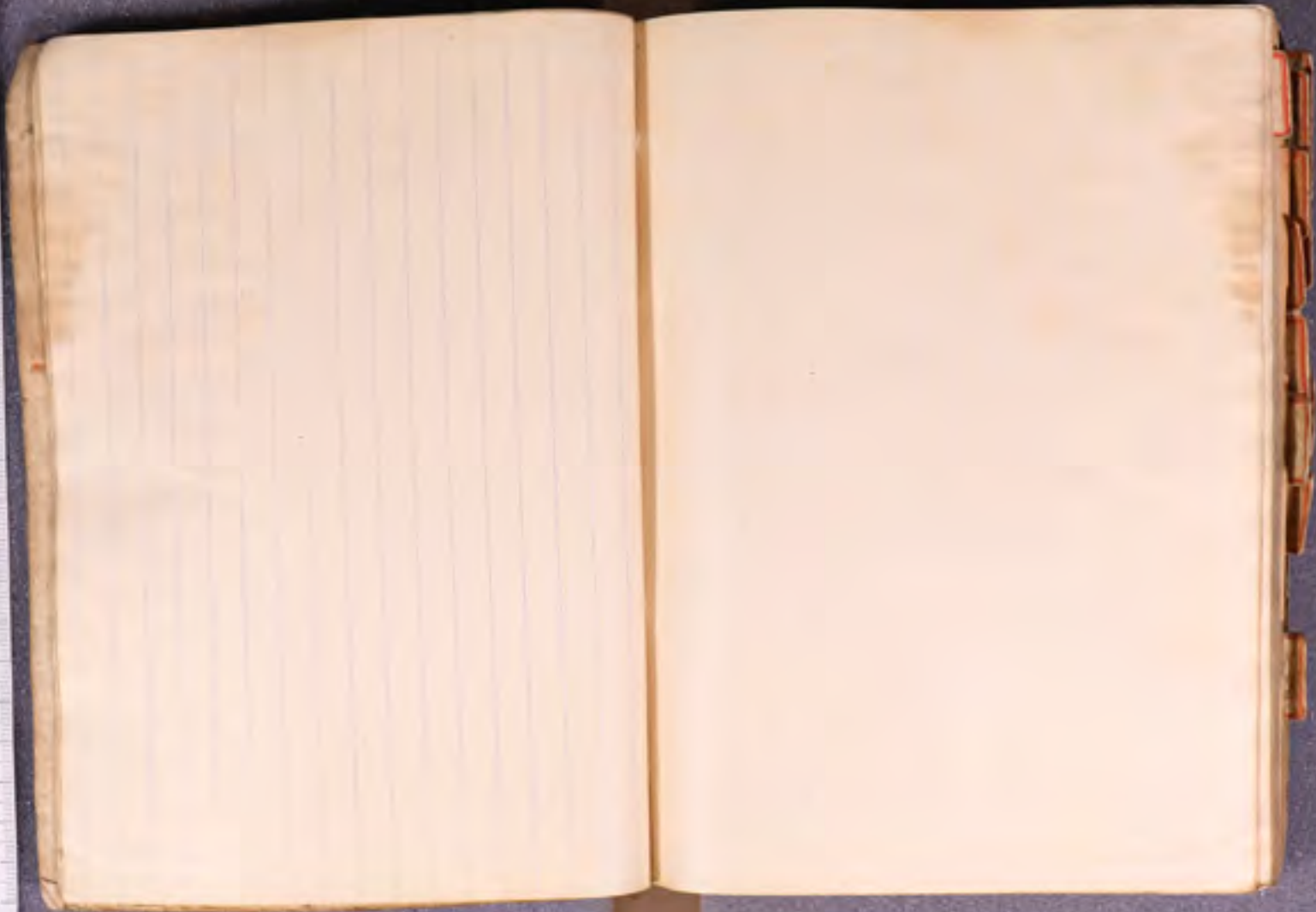


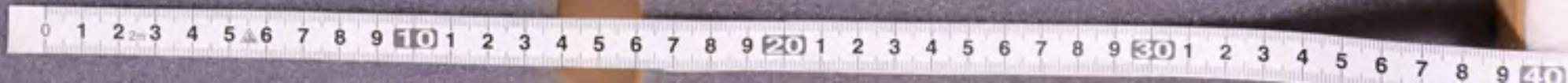
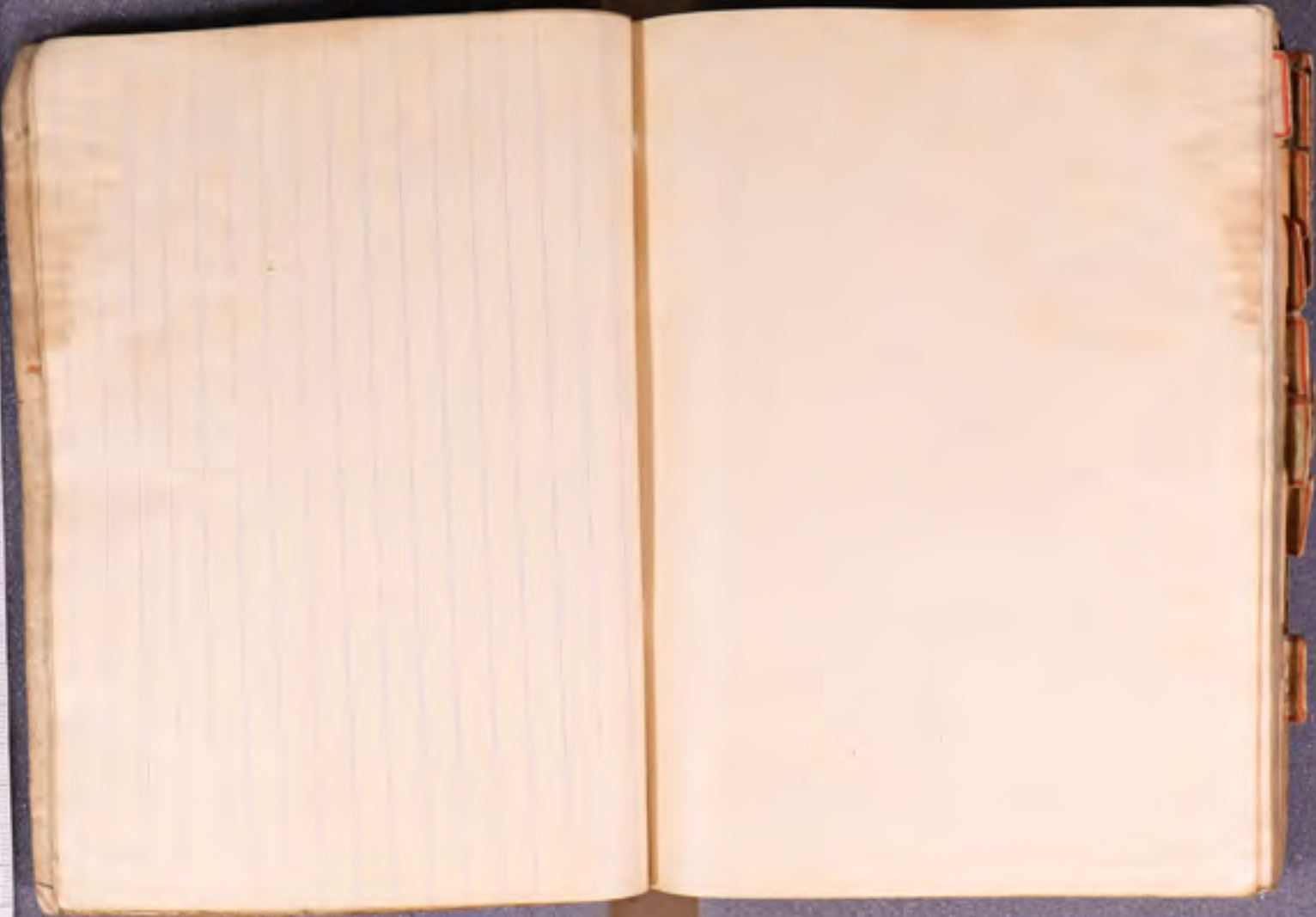


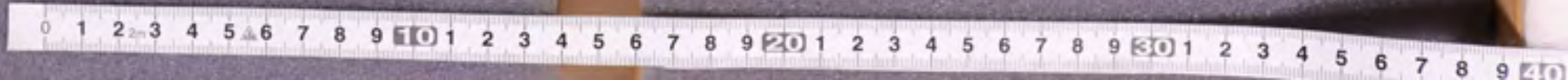




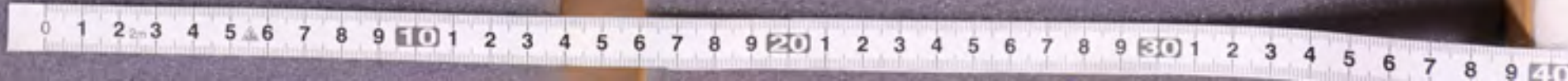




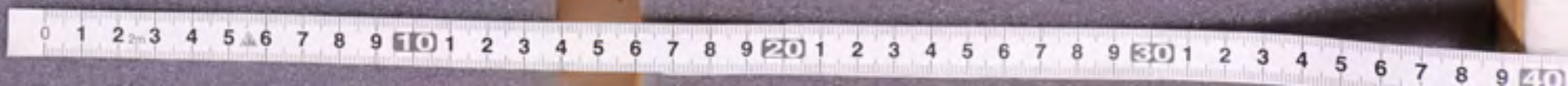






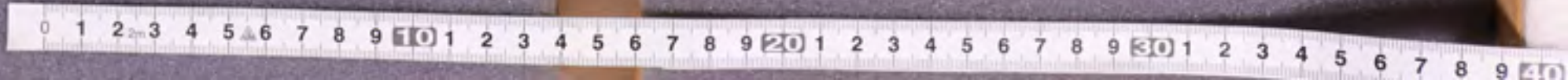








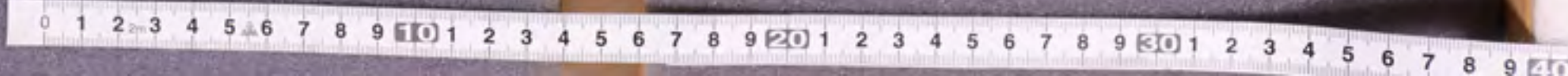
OpCARD 10







OpCARD 30



地名	岩間古墳	宿直
赤田	①	①
入前	②	②
吉野	③	③
大正	④	④
定野	⑤	⑤
杉村	⑥	⑥
21 200	⑦	⑦
定野	⑧	⑧
岡	⑨	⑨
尾田	⑩	⑩
谷	⑪	⑪
山崎	⑫	⑫
石井	⑬	⑬
石井	⑭	⑭
石井	⑮	⑮
石井	⑯	⑯
石井	⑰	⑰
石井	⑱	⑱
石井	⑲	⑲
石井	⑳	⑳
石井	㉑	㉑
石井	㉒	㉒
石井	㉓	㉓
石井	㉔	㉔
石井	㉕	㉕
石井	㉖	㉖
石井	㉗	㉗
石井	㉘	㉘
石井	㉙	㉙
石井	㉚	㉚
石井	㉛	㉛
石井	㉜	㉜
石井	㉝	㉝
石井	㉞	㉞
石井	㉟	㉟
石井	㊱	㊱
石井	㊲	㊲
石井	㊳	㊳
石井	㊴	㊴
石井	㊵	㊵
石井	㊶	㊶
石井	㊷	㊷
石井	㊸	㊸
石井	㊹	㊹
石井	㊺	㊺
石井	㊻	㊻
石井	㊼	㊼
石井	㊽	㊽
石井	㊾	㊾
石井	㊿	㊿

石井	①	①
石井	②	②
石井	③	③
石井	④	④
石井	⑤	⑤
石井	⑥	⑥
石井	⑦	⑦
石井	⑧	⑧
石井	⑨	⑨
石井	⑩	⑩
石井	⑪	⑪
石井	⑫	⑫
石井	⑬	⑬
石井	⑭	⑭
石井	⑮	⑮
石井	⑯	⑯
石井	⑰	⑰
石井	⑱	⑱
石井	⑲	⑲
石井	⑳	⑳
石井	㉑	㉑
石井	㉒	㉒
石井	㉓	㉓
石井	㉔	㉔
石井	㉕	㉕
石井	㉖	㉖
石井	㉗	㉗
石井	㉘	㉘
石井	㉙	㉙
石井	㉚	㉚
石井	㉛	㉛
石井	㉜	㉜
石井	㉝	㉝
石井	㉞	㉞
石井	㉟	㉟
石井	㊱	㊱
石井	㊲	㊲
石井	㊳	㊳
石井	㊴	㊴
石井	㊵	㊵
石井	㊶	㊶
石井	㊷	㊷
石井	㊸	㊸
石井	㊹	㊹
石井	㊺	㊺
石井	㊻	㊻
石井	㊼	㊼
石井	㊽	㊽
石井	㊾	㊾
石井	㊿	㊿

